

CentreCOM®
WR211PCM plus

ユーザーマニュアル

©2000 アライドテレシス株式会社

PN J613-M2622-00 Rev.A 001208

安全のために



必ずお守りください



警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない

本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。



分解禁止

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない

感電の原因となります。



雷のときはさわらない

異物はいれない 水は禁物

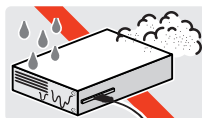
火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。(当社のサポートセンターまたは販売店にご連絡ください。)



異物厳禁

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気のあたる場所には置かない

内部回路のショートの原因になり、火災や感電の恐れがあります。



設置場所注意



注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

高温注意

本製品の使用直後は高温になっています。不用意に触ると、火傷の恐れがあります。



高温注意

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください。

- ・直射日光の当たる場所
- ・暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
- ・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所（湿度 80%以下の環境でご使用ください）
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所や、ジュータンを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
- ・腐食性ガスの発生する場所



静電気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクタの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。



取り付け・取り外しのときの注意

コンピュータのPCカードスロットに本製品を取り付ける作業は、必ず本マニュアル及び、ご使用のコンピュータのマニュアルを参照の上正しく行ってください。



長期保管時は袋に入れて

本製品を長期にわたって保管する場合は、必ず添付の袋（静電防止）に入れてください。



取り扱いはいないに

落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。



お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で

誤動作の原因になります。



機器は、乾いた柔らかい布で拭く

汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませ、強く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。



ぬらすな



中性洗剤
使用



強く絞る

お手入れには次のものは使わないでください

・石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん
（化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください。）



シンナー
類不可

はじめに

この度は、「CentreCOM WR211PCM plus」無線 LAN 用 PC カードをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。このマニュアルは、本製品を正しくご利用いただくための手引きです。必要に応じていつでもご覧いただくために、保証書とともに大切に保管くださいますようお願いいたします。

内容物をご確認ください

本製品パッケージの内容は、下記の通りです（下記以外に添付紙が同梱されている場合があります）。お買い上げ商品についてご確認ください。万一不足するものがございましたら、お手数ですが、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

- CentreCOM WR211PCM plus 本体
- セットアップユーティリティディスク（1.44MB、2 枚）
- ユーザーマニュアル
- 製品保証書（3 年保証）
- お客様インフォメーション登録カード
- シリアル番号ラベル
- 電波干渉注意ラベル

ドライブ名「A:」「C:」「D:」

本書では、ドライバーのインストール対象となるコンピュータ機種として「AT 交換機 /PC98-NX シリーズ」を想定しています。「AT 交換機 /PC98-NX シリーズ」では、ドライブ名として下記を仮定して説明しています。ご使用のコンピュータでドライブ名が異なる場合は、ご使用のコンピュータにおけるものと読み替えてください。

- 「フロッピーディスクドライブ」として「A:」
- 「起動ドライブ（ハードディスク）」として「C:」
- 「CD-ROM ドライブ」として「D:」

「PC-9821 シリーズ」における一般的なドライブ名を下記にあげます（必ずしも下記の通りではありません。コンピュータのマニュアル、実際にご使用のコンピュータでご確認ください）。

- 「フロッピーディスクドライブ」として「B:」
- 「起動ドライブ（ハードディスク）」として「A:」
- 「CD-ROM ドライブ」として「Q:」

表記上の注意

Windows95 には、いくつかのバージョンが存在します。本マニュアルでは、以下の意味で使用しています。

- Version 950 Windows95 Ver.4.00.950
- Version 950a Windows95 Ver.4.00.950a

- Version B Windows95 Ver.4.00.950 B
このバージョンは「Version B」「OSR2 (= OEM Service Release 2)」「Type B」などの呼称が存在しますが、本書では「Version B」に統一します。

- Version C Windows95 Ver.4.00.950 C
このバージョンは「Version C」「OSR2.5 (= OEM Service Release 2.5)」「Type C」などの呼称が存在しますが、本書では「Version C」に統一します。

電波に関する注意

本製品を下記のような状況でご使用になることはおやめください。また設置の前に、「安全のために」を必ずお読みください。

- 心臓ペースメーカーをご使用の方の近くや、医療機器の近くで本製品を使用しないでください。
- 電子レンジの近くで、本製品をご使用にならないでください。電子レンジによって、本製品の無線通信への電磁妨害が発生します。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ラインで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、弊社サポートセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等についてご相談下さい。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サポートセンターにお問い合わせ下さい。

目次

1 概要	6	3.4.3 正しくインストールされない	34
1.1 特長	6	3.4.4 その他	34
1.2 ネットワーク構成例	6	4 Windows 2000	35
1.3 対応コンピュータ機種	7	4.1 インストール	35
1.4 対応オペレーティングシステム	7	4.1.1 用意するもの	35
1.5 各部の名称と働き	7	4.1.2 コンピュータへの取り付け	35
1.6 セットアップユーティリティーディスク	8	4.1.3 ユーティリティープログラムのインストール	36
1.7 設置時の注意	8	4.1.4 インストールの確認とネットワークおよび 本製品の設定	37
1.8 外部アンテナとの接続	8	4.1.5 本製品を一時的に使用しないとき	39
2 Windows 98/Me	10	4.2 ホットスワップに関するご注意	39
2.1 インストール	10	4.2.1 PC カードの挿入	39
2.1.1 インストールを始める前に	10	4.2.2 PC カードの取り外し	39
2.1.2 コンピュータへの取り付け	10	4.3 アンインストール	40
2.1.3 ドライバーのインストール確認	11	4.4 トラブルシューティング	40
2.1.4 ユーティリティープログラムのインストール	12	4.4.1 無線アイコンが表示されない	40
2.1.5 無線アイコンの表示	14	4.4.2 その他	40
2.2 ネットワーク接続	14	5 Windows 95	41
2.2.1 本製品の設定	14	5.1 インストール	41
2.2.2 コンピュータの「ネットワーク」設定	17	5.1.1 インストールを始める前に	41
2.2.3 ネットワーク接続の確認	19	5.1.2 本製品のコンピュータへの取り付け	41
2.3 ホットスワップ(活線挿抜)に関するご注意	21	5.1.3 ユーティリティープログラムのインストール	43
2.3.1 コンピュータへの取り付け	21	5.1.4 インストールの確認とネットワークおよび 本製品の設定	45
2.3.2 コンピュータからの取り外し	21	5.2 本製品の取り外しの注意	46
2.4 アンインストール	21	5.3 アンインストール	47
2.4.1 「Uninstaller」を実行	21	5.4 トラブルシューティング	48
2.4.2 本製品の取り外しの確認	22	A 付録	49
2.5 トラブルシューティング	22	A.1 製品仕様	49
2.5.1 PWR (Power)LED が点灯していない	23	A.2 MAC アドレス	49
2.5.2 ドライバーが正しくインストールされていない	23	B 用語集	50
2.5.3 本製品の設定が正しくない	24	B.1 本製品に関する用語	50
2.5.4 本製品を取り付けたコンピュータのネットワーク 設定が正しくない	25	B.2 ネットワーク関連の用語	50
2.5.5 正常に動作しない	25	C 保証	51
3 Windows NT 4.0	26	D ユーザーサポート	51
3.1 インストール	26	D.1 調査依頼書のご記入にあたって	51
3.1.1 インストール時のご注意	26	D.2 システムレポートの出力方法	51
3.1.2 インストールを始める前に	26	D.3 最新ドライバーソフトウェアの入手方法	52
3.1.3 ユーティリティープログラムのインストール	27	E ご注意	52
3.1.4 コンピュータへの取り付けと再起動	30	F 商標について	52
3.1.5 インストールの確認と本製品の設定	30	G マニュアルバージョン	52
3.1.6 本製品を使用しないとき	31		
3.2 アンインストール	32		
3.3 本製品の取り付け・取り外し	33		
3.3.1 PC カードの取り付け	33		
3.3.2 PC カードの取り外し	33		
3.4 トラブルシューティング	33		
3.4.1 正しく動作しない	33		
3.4.2 無線アイコンが表示されない	34		

1 概要

1.1 特長

CentreCOM WR211PCM plus (以下、「WR211PCM plus」と略します) は以下の特長をもつ無線 LAN カードです。

- 「WR211PCM plus」無線 LAN カードを取り付けたノートパソコン同士で、無線通信を実現(「AdHoc」モード)
- 別売のアクセスポイント(CentreCOM WR211AP)を使用すれば、既存の有線 LAN 環境と無線 LAN 環境を統一したネットワークの構築が可能(「Infrastructure」モード)
- 別売の外部 アンテナ (WR211ANT-01) を接続すれば、電波状態が不安定な場所でも使用することが可能
- ローミング機能(複数のアクセスポイントがある場合、電波状態により、接続するアクセスポイントを自動的に切り替える機能)に対応
- IEEE802.11b に準拠し、無線上での通信速度 11Mbps の通信が可能
- 2.4GHz 帯の小電力通信システムを使用しているため無線免許が不要
- 直接拡散変復調によるスペクトラム拡散方式(DS-SS)の採用によりノイズにも強い

- 屋外 150m/ 屋内 50m (送信速度 11Mbps 時には、屋外 60m/ 屋内 30m) の距離で通信が可能
- 1 ~ 14 チャンネルを切り替えて使用することが可能
- セキュリティ対策として、WEP 方式による暗号化機能と SSID によるグループ識別機能を持つ (SSID の設定は、Infrastructure モード時のみ有効)
- 良好な通信状態を得られるように、2 種類のアンテナを通信状況に応じて切り替えて使用
- 動作状態を表示する LED がカード本体に付属
- Plug&Play に対応(注)
- ホットプラグ / ホットスワップ (活線挿抜) に対応(注)

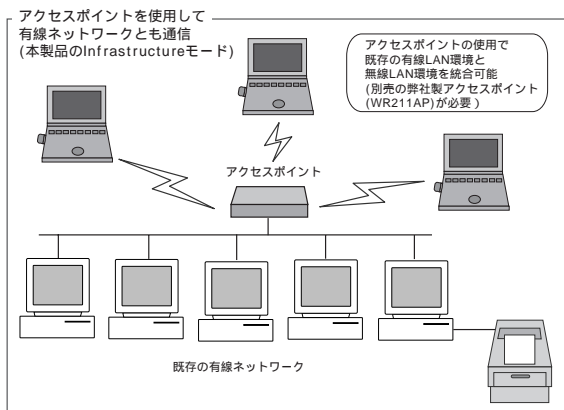
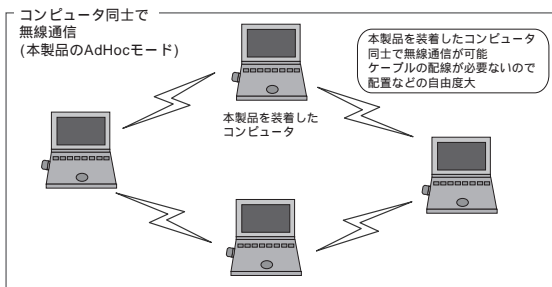


注意

Plug&Play、ホットプラグ / ホットスワップ (活線挿抜) は、これらの機能に対応しているコンピュータ、オペレーティングシステム (OS) とドライバのもとでご使用になれます。

1.2 ネットワーク構成例

本製品を使用すると、次の 2 種類の構成の無線ネットワークを構築することができます。



1.3 対応コンピュータ機種

本製品は PC Card Standard 95 以降に準拠した Type II PC カードに対応する PC カードスロットを持った、次のコンピュータ機種で使用可能です。

- AT 互換機および NEC PC98-NX シリーズ
- PC-9821 シリーズ (ただし、PC-9821Ne 及び EPSON 製 98 互換機には対応していません)

1.4 対応オペレーティングシステム

本製品および添付のセットアップユーティリティーは、次のオペレーティングシステム (OS) に対応しています。

- Windows 95
- Windows 98
- Windows 98 Second Edition
- Windows NT 4.0 (サービスパック 3 以上がインストールされていること)
- Windows 2000
- Windows Me



省電力モード (パワーマネージメント機能、サスペンドレジューム機能) には対応していませんので、全ての設定を無効にしてご使用ください。



Windows 98、Windows 2000、Windows Me の ACPI 機能には対応していません。



本製品を、Windows NT4.0 で使用する場合には、サービスパック 3 以上がインストールされていなければなりません。「サービスパックの確認」(p.26) の手順を参照して、正しいサービスパックがインストールされていることを確認してください。サービスパックがインストールされていない、またはサービスパック 2 以下がインストールされている場合は、サービスパック 3 以上をインストールしてください。



本製品を Windows 95 の Version B 以前のバージョンで使用する場合は、Microsoft から提供されているアップデートモジュールが必要になる場合があります。Microsoft のホームページから「ダイヤルアップネットワーク 1.3 アップグレード」をダウンロードし、ご使用のコンピュータに本製品を取り付ける前にインストールしてください。

1.5 各部の名称と働き

図 1.5.0.1、図 1.5.0.2 をもとに各部の名称と働きを説明します。

PC カード本体

コンピュータの PC カードスロットに挿入し、LAN アダプターの機能を提供します。

PWR/TX LED

電源が正常に供給されている時に黄色で点灯します。また、データ送信時には、緑色で点灯します。

外部アンテナ接続端子

別売の外部アンテナ (WR211ANT-01) を接続する端子です。外部アンテナを使用する場合は、端子のカバーを外して、アンテナを接続します。

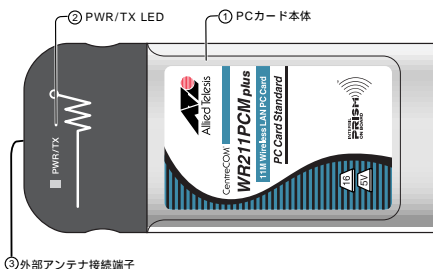


図 1.5.0.1 WR211PCM plus 外観図 (上面)

警告ラベル

本製品を安全にご使用いただくための重要な情報が記載されています。必ずお読みください。

シリアル番号ラベル

本製品のシリアル番号 (製造番号) とリビジョンが記入されています。同じものが、3 枚同梱されており、パッケージ (外箱) にも貼付されています。同梱されているシリアル番号ラベルは、「製品保証書」および「お客様インフォメーション登録カード」に貼付してください。シリアル番号とリビジョンは、ユーザーサポートへの問い合わせ時に必要な情報です。

MAC アドレスラベル

本製品の MAC アドレスが記入されています。MAC アドレスについては、「A.2 MAC アドレス」(p.49) をご覧ください。

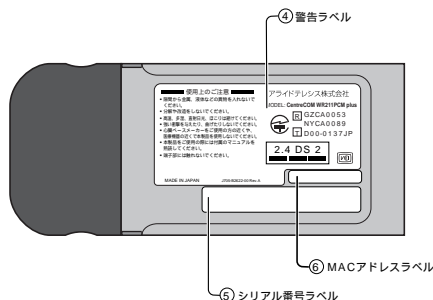



図 1.5.0.2 WR211PCM plus 外観図 (下面)

図 1.5.0.2 中の  記号は、次の内容を意味します。

使用周波数帯域	2.4GHz 帯
変調方式	DS-SS 方式
想定干渉距離	20m 以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内局」あるいは「特小局」帯域を回避可能

1.6 セットアップユーティリティディスク

本製品をご使用になる前に、必ず、「セットアップユーティリティディスク 1of2」に含まれる「README.*」ファイルをお読みください。「README.*」には、このマニュアルに記載されていない最新の情報が記載されています。



README.1ST (Read me first.) ファイルには、ドライバーディスクの詳細なディレクトリ構造やドライバーディスク全体に関することが記載されています。README.95、README.98、README.NT、README.2K、README.Me ファイルには、それぞれのドライバーに関する詳細情報が記載されています。

1.7 設置時の注意

本製品を設置する前に、「安全のために」(p.2)、「電波に関する注意」(p.4)を必ずお読みください。

無線通信を行うコンピュータ同士は、お互いのコンピュータを見通せる位置に設置してください。本製品のサービスエリアは、屋外で 150m、屋内で 50m (11Mbps 通信時は、屋外 60m、屋内 30m) になります。



コネクターの端子にはさわらないでください。静電気を帯びた手(体)でコネクターの端子に触れると、静電気の放電により故障の原因となります。

本製品をコンピュータに取り付けたときに、内蔵アンテナ部(コンピュータ本体の外に出る部分)には、無理な力を加えないでください。

- ・物を落とす、手をつく
- ・手や物を引っかける

など、無理な力を加えると、本製品の故障や破損の原因となります。



上記の注意に従わず、誤った使い方をした場合に発生した故障につきましては、製品保証の対象外とさせていただきます。



本製品に触れる前に、あらかじめ他の金属部分(水道の蛇口、ドアノブ等)に触れて体内の静電気を放電してください。この時、ガス管など発火する危険性のあるものには、絶対に触れないようにしてください。

本製品の内部には、最新の IC 類が使用されています。ご使用中の静電気による故障対策はされていますが、他の機器との接続時などには、特に注意してください。お客様の不注意により生じた静電気等による故障等につきましては、保証の対象外となりますのであらかじめご了承ください。

1.8 外部アンテナとの接続

本製品に別売の外部アンテナ(WR211ANT-01)を接続し、外部アンテナを見通しの良い場所に設置すると、内蔵アンテナだけでは電波状態が不安定な環境でも、より安定した電波状態での受信が可能となります。本製品と外部アンテナの接続手順は、次の通りです。



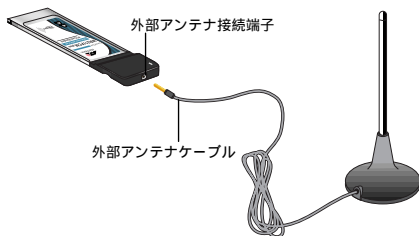
コネクターの端子にはさわらないでください。静電気を帯びた手(体)でコネクターの端子に触れると、静電気の放電により故障の原因となります。

- (1) 針などの先の細いものを使用して、PC カード本体にある、外部アンテナ接続端子のカバーを外します。



カバーを外す際に針などをご使用になる場合は、ケガなどしないよう注意してご使用ください。

- (2) 外部アンテナ接続端子に、アンテナのケーブルを接続します。



- (3) 接続部分が外れないように注意しながら、外部アンテナを見通しの良い場所に設置します。



外部アンテナを振動、衝撃の多い場所や不安定な場所に設置しないでください。機器の落下による、ケガ・誇張の原因となることがあります。



外部アンテナを高所に設置する場合、ケーブルの重みによりアンテナ本体が落下しないように、外部アンテナは安定した場所に設置してください。落下によるケガ・機器破損の恐れがあります。

(4) 外部アンテナを取り外す場合には、アンテナケーブルのコネクターの根本を持って、取り外してください。

外部アンテナと本製品を接続した場合、接続部分に無理な力が加わらないように設置してください。

- ・ アンテナケーブルに、手や物を引っかける
- ・ 本製品とアンテナの接続部分の上に物を置く
- ・ アンテナケーブルを無理に曲げる

など無理な力を加えると、アンテナケーブルが本製品から外れてしまったり、本製品や外部アンテナの故障、または破損の原因となります。



上記の注意に従わず、誤った使い方をした場合に発生した故障につきましては、製品保証の対象外とさせていただきます。

注意

2 Windows 98/Me

2.1 インストール

本製品をシステムにインストールする手順について説明します。インストールは、次の2段階の手順で実行してください。

- 1 本製品をコンピュータに取り付け、ドライバーをインストールする
- 2 ユーティリティプログラムをインストールする

2.1.1 インストールを始める前に

用意するもの

- WR211PCM plus カード本体
- コンピュータ (Windows 98/Meインストール済み)
- 「セットアップユーティリティディスク」2枚
- Windows 98/Me の CD-ROM



Windows 98/Me が、コンピュータ購入時にあらかじめインストールされた形態で提供されたもの、すなわちプリインストール版である場合は、Windows 98/Me のバックアップ CD-ROM が付属しているかどうかをご確認ください。バックアップ CD-ROM が付属していない場合は、安全のため必ずフロッピーディスク等に Windows 98/Me のバックアップを取った後でドライバーのインストールを開始してください。バックアップの手順については、ご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。コンピュータメーカーにご確認ください。



ハードディスク内のデータは、必ずフロッピーディスク等にバックアップをとった後で、ドライバーのインストールを開始してください。特に重要なデータについては、必ずバックアップをとられることをお勧めします。

また、いかなる場合でも、データが消失または破損したことによる損害については、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

2.1.2 コンピュータへの取り付け



以下にあげる手順は一例です。お客様の環境によっては、手順などが若干異なることがあります。また、ここでは Windows 98 Second Edition での手順を例にしています。Windows Me をご使用の場合は、「98」を「Me」に、読み替えてください。

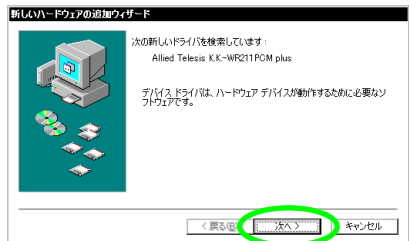


本製品に触れる前に、あらかじめ他の金属部分(水道の蛇口、ドアノブ等)に触れて体内の静電気を放電してください。この時、ガス管など発火する危険性のあるものには、絶対に触れないようにしてください。

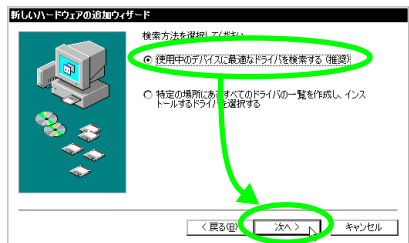
- (1) コンピュータの電源をオンにし、Windows98 を起動してください。

- (2) コンピュータのPCカードスロットに本製品を挿入してください。

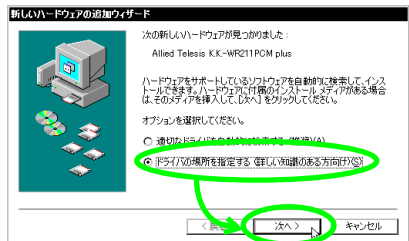
- (3) Windows98 は本製品が PC カードスロットに挿入されたことを自動的に検出し、「新しいハードウェアの追加ウィザード」を起動します。「次へ」ボタンをクリックします。



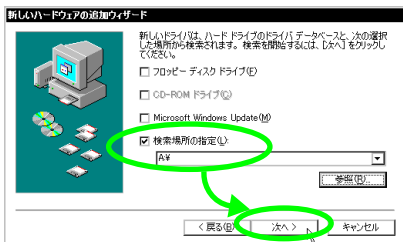
- (4) 「使用中のデバイスに最適なドライバを探索する(推奨)」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



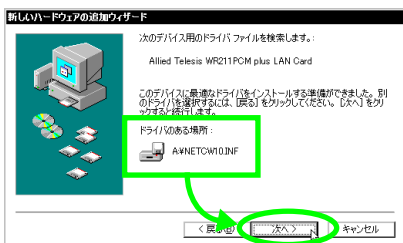
Windows Me をご使用の場合は、「ドライバの場所を指定する(詳しい知識のある方向け)」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



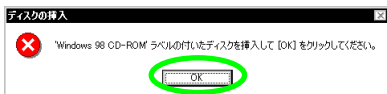
- (5) 「セットアップユーティリティーディスク 1of2」をフロッピーディスクドライブに挿入します。次のダイアログで「検索場所の指定」をチェックして「A:¥」と入力し、「次へ」ボタンをクリックします。（ここではフロッピーディスクドライブを「A:」AT 互換機を仮定します）



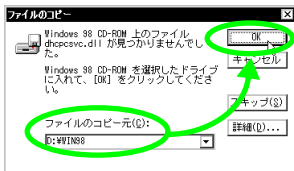
- (6) 「ドライブのある場所」に、「A:¥NETCW10.INF」と表示されているのを確認し、「次へ」ボタンをクリックします。



また、次のようなダイアログが表示される場合、Windows 98 の CD-ROM が CD-ROM ドライブに挿入されていることを確認し、「ディスクの挿入」ダイアログで「OK」ボタンをクリックしてください。



次のダイアログが表示される場合は、「ファイルのコピー元」に「D:¥WIN98」を入力してください。ここでは CD-ROM ドライブを「D:」AT 互換機を仮定します。

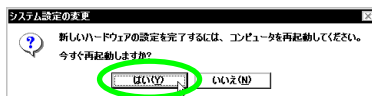


ご使用のコンピュータがプリインストール版である場合、「ファイルのコピー元」として「C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」を入力してください（ここではハードディスクドライブを「C:」AT 互換機を仮定します）。

- (7) 「完了」ボタンをクリックしてください。



- (8) フロッピーディスクドライブからディスクを抜き、「はい」ボタンをクリックし、コンピュータを再起動します。



2.1.3 ドライバーのインストール確認

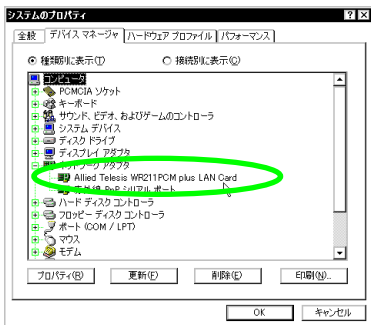
ドライバーのインストールが、正しく終了していることを確認してから、「2.1.4 ユーティリティープログラムのインストール」に進みます。

デバイスマネージャによるインストールの確認

- (1) 「コントロールパネル」の「システム」アイコンをダブルクリックします。



- (2) 「デバイスマネージャ」タブをクリックします。インストールが正常に行われていれば、「ネットワークアダプタ」の下に「Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card」が表示されます。



本製品のアイコンに「x」「?」「!」などのマークが付いたり、あるいはアイコンが「ネットワークアダプタ」の下ではなく、「不明なデバイス」や「その他のデバイス」の下にある場合は、インストールに失敗しています。詳しくは、「2.5 トラブルシューティング」(p.22) をご覧ください。

- (3) 「Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card」を選択（反転表示）し、「プロパティ」ボタンをクリックします。「全般」タブで「デバイスの状態」欄に「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることをご確認ください。

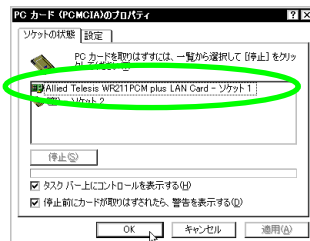


- (4) 本製品が使用する I/O の範囲（I/O アドレス）、割り込み要求（IRQ）などは、Windows98 によって自動的に設定されます。「リソース」タブを選択すると、これらを確認することができます。ここでは、リソースの「I/O の範囲」が「1000 - 103F」、割り込み要求が「15」に、自動的に設定されています。



PC カード（PCMCIA）による確認

「コントロールパネル」の「PC カード（PCMCIA）」アイコンをダブルクリックします。「ソケットの状態」タブを選択し、該当するソケットに「Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card」が表示されていることを確認します。



2.1.4 ユーティリティープログラムのインストール

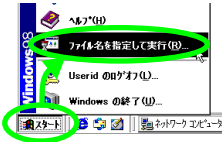
インストール時の設定項目

ユーティリティープログラムをインストールする際に設定する項目について説明します。設定する項目は、次の2項目です。

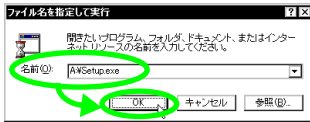
- 「SSID」
無線 LAN ネットワークを構成するコンピュータ同士を識別する名前です。同じネットワークに属するコンピュータ同士は、同じ SSID を設定します。SSID は、半角英数 32 文字以内で設定します（大文字、小文字も区別されます）。SSID の設定は、「Infrastructure」モード時のみ、有効になります。インストール時のデフォルトは、「CentreCOM WR211PCM」です。
- 「通信モード」
無線 LAN のネットワーク構成を設定します。「AdHoc」モードでは、本製品を取り付けたコンピュータ同士でネットワークを構成します。「Infrastructure」モードでは、アクセスポイントを使用し、有線ネットワークと無線ネットワークを統合した1つのネットワークを構成することができます。インストール時のデフォルトは、「Infrastructure」です。

次に説明する手順の中では、「SSID」と「通信モード」はデフォルトのままです。

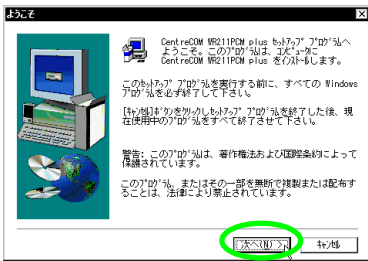
- (1) 「スタート」メニューから「ファイル名を指定して実行」を選択します。



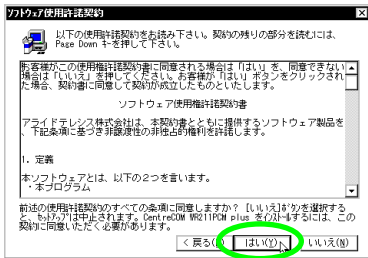
- (2) 「セットアップユーティリティディスク 1of2」をフロッピーディスクドライブに挿入し、「名前」に「A:¥Setup.exe」と入力し、「OK」ボタンをクリックします（ここではフロッピーディスクドライブを「A:」AT 交換機を仮定します）。



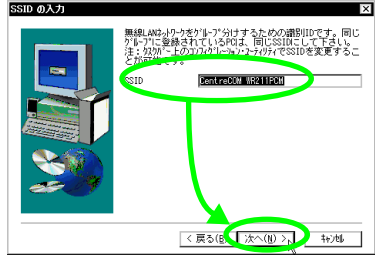
- (3) 「Setup」プログラムを実行する前に、他のプログラムを終了し、「次へ」ボタンをクリックします。



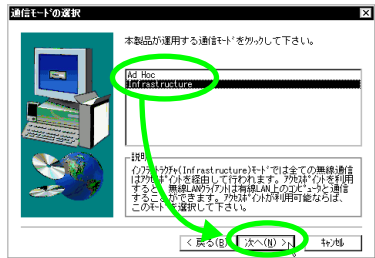
- (4) 「ソフトウェア使用許諾契約書」の内容を確認し、「はい」ボタンをクリックします。



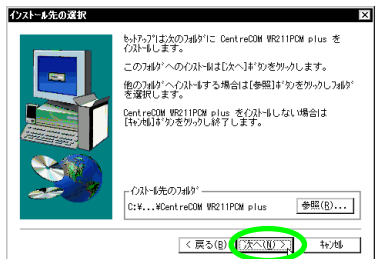
- (5) 「SSID」を設定し、「次へ」ボタンをクリックします。



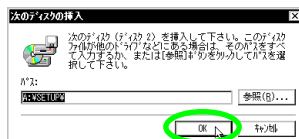
- (6) 「通信モード」を設定し、「次へ」ボタンをクリックします。



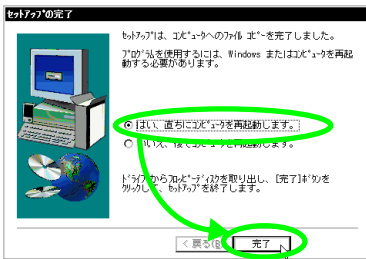
- (7) ユーティリティプログラムのインストール先を指定します。表示されているインストール先を変更したい場合は、「参照...」ボタンをクリックし、変更先を指定します。インストール先が決まったら、「次へ」ボタンをクリックします。



- (8) ファイルのコピーが始まります。次のダイアログが表示されたら、フロッピーディスクを「セットアップユーティリティディスク 2of2」に交換し、「OK」ボタンをクリックします。



- (9) ユーティリティプログラムを使用する前に、コンピュータを再起動する必要があります。「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選択し、フロッピーディスクドライブからディスクを抜き、「完了」ボタンをクリックしてコンピュータを再起動します。



2.1.5 無線アイコンの表示

コンピュータが再起動すると、タスクバーに無線アイコンが表示されます。通信モードを「Infrastructure」に設定した場合は、アクセスポイントとの接続状況に従って、表示されるアイコンが異なります。アイコンの種類は、次のとおりです。

[「Infrastructure」モードでアクセスポイントとの通信状態が良好な場合]



[「Infrastructure」モードでアクセスポイントとの通信状態が不良な場合]



[「Infrastructure」モードでアクセスポイント検索中の場合]



2.2 ネットワーク接続

ここでは、ネットワーク接続をするための手順について説明します。ネットワーク接続するには、大きく分けて次の3段階の手順を実行します。

- 1 本製品の設定
- 2 コンピュータの「ネットワーク」の設定
- 3 ネットワーク接続の確認

2.2.1 本製品の設定

本製品の設定は、「Configuration Utility」を使用して変更します。

基本設定

- (1) タスクバーに表示されている無線アイコンをクリックします。タスクバーに表示される無線アイコンは、通信モードの設定などにより異なります。無線アイコンの種類については、「2.1.5 無線アイコンの表示」(p.14)を参照してください。

[無線アイコンの表示例]



タスクバーに無線アイコンが表示されていない場合は、「スタート」メニューから「プログラム」 「CentreCOM WR211PCM plus」 「Configuration Utility」を選択すると、アイコンが表示されます。

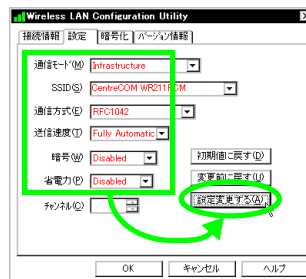
- (2) 「設定」タブをクリックして、各項目の設定を変更します。設定を変更したら、「設定変更する」ボタンをクリックします。



設定を変更した場合は、必ず「設定を変更する」ボタンをクリックしてください。「設定を変更する」ボタンをクリックしない注意

アクセスポイントを使用してネットワーク接続する場合

アクセスポイントを使用してネットワーク接続する場合には、次のように設定します。



・「通信モード」

無線 LAN のネットワーク構成を設定します。アクセスポイントを使用してネットワーク接続する場合には、「Infrastructure」モードを選択します。

・「SSID」

無線 LAN ネットワークを構成するコンピュータ同士を識別する名前です。同じネットワークに属するコンピュータ同士は、同じ SSID を設定します。SSID は、半角英数 32 文字以内で設定します（大文字、小文字も区別されます）。インストール時のデフォルトは、「CentreCOM WR211PCM」です。

SSID は、セキュリティ確保のために、デフォルトの設定を変更して独自の SSID を設定されることをお勧めします。

・「送信速度」

送信速度は、「Fully Automatic」、「1Mb」、「2Mb」、「Auto 1 or 2Mb」、「5.5Mb」、「11Mb」の中から選択できます。帯域を有効に利用し、最適な速度で通信を実行するには、デフォルトの「Fully Automatic」の設定のままでご利用ください。

・「通信方式」

通信方式は、「Encapsulated」、「RFC1042」、「802.1h」の中から選択できます。

通常は、「RFC1042」を選択します。古い無線 LAN のシステムと接続する場合は、その他の通信方式を選択します。

・「暗号」

無線通信で、暗号を使用するか使用しないかを選択します。暗号を使用する場合には、「Mandatory」を選択します。暗号を使用しない場合には、「Disabled」を選択します。

「暗号」を使用する場合には、「暗号」の設定」(p.16)を参照してください。

・「省電力」

省電力機能を使用するか、しないかを選択します。省電力機能を使用する場合には、「Enabled」を選択し、使用しない場合には、「Disabled」を選択します。



省電力機能には対応しておりませんので、Disabledのままでご利用ください。

注意

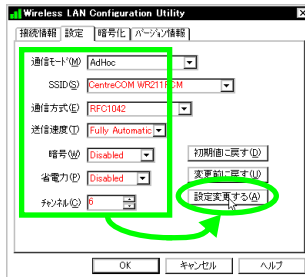
・「チャンネル」

「Infrastructure」モードで使用の場合は、アクセスポイントを検索するときに、使用しているチャンネルも自動的に検索しますので、設定する必要はありません。

「設定変更する」ボタンをクリックすると、同じ「SSID」が設定されているアクセスポイントを検索します。また、複数のアクセスポイントが存在する場合は、電波状態の良い方のアクセスポイントを選択します。

本製品を取り付けたコンピュータ同士をネットワーク接続する場合

本製品を取り付けたコンピュータ同士をネットワーク接続する場合には、次のように設定します。



・「通信モード」

無線 LAN のネットワーク構成を設定します。本製品を取り付けたコンピュータ同士をネットワーク接続する場合には、「AdHoc」モードを選択します。

・「SSID」

SSID の設定は、「AdHoc」モードの場合は無効です。



「AdHoc」モードの場合は「SSID」の設定が有効ではありませんので、セキュリティを確保することができません。お使いのコンピュータが属するネットワークグループ内で、無線通信で送信する情報を保護したい場合には、後述の「暗号」を設定してください。

・「送信速度」

送信速度は、「Fully Automatic」、「1Mb」、「2Mb」、「Auto 1 or 2Mb」、「5.5Mb」、「11Mb」の中から選択できます。帯域を有効に利用し、最適な速度で通信を実行するには、デフォルトの「Fully Automatic」の設定のままでご利用ください。

・「通信方式」

通信方式は、「Encapsulated」、「RFC1042」、「802.1h」の中から選択できます。通常は、「RFC1042」を選択します。古い無線 LAN のシステムと接続する場合は、その他の通信方式を選択します。

・「暗号」

無線通信で、暗号を使用するか使用しないかを選択します。暗号を使用する場合には、「Mandatory」を選択します。暗号を使用しない場合には、「Disabled」を選択します。「暗号」を使用する場合には、「暗号」の設定」(p.16)を参照してください。

・「省電力」

省電力の設定は、「AdHoc」モード時には無効です。

・「チャンネル」

「AdHoc」モードの無線通信で使用するチャンネルを設定します。同じネットワークに属するコンピュータ同士は、同じチャンネルを設定します。チャンネルを変更して使用する場合は、他の無線設備と電波干渉を起こすことがあります。電波干渉を起こさないようにするためには、無線通信に使用するチャンネルの間隔をあけて設定して下さい。

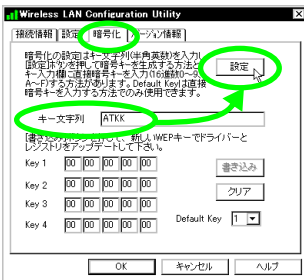
「暗号」の設定

本製品では、無線ネットワーク上で交換されるデータを保護するために、暗号を使用することができます。暗号を使用して通信を行うためには、暗号を使用するグループのコンピュータ全てに、同じ暗号を設定する必要があります。

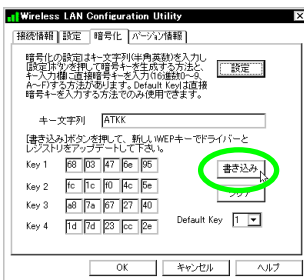
次に、「キー文字列」を設定して暗号を設定する手順について説明します。例として、暗号を使用して通信するコンピュータを、コンピュータA コンピュータBの2台とします。

コンピュータ A の設定

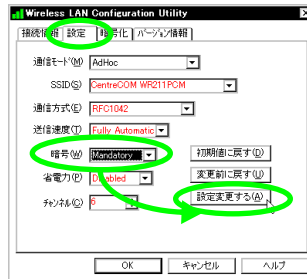
- (1) 「Configuration Utility」の「暗号化」タブをクリックします。「キー文字列」に、任意の半角英数文字を入力してから、「設定」ボタンをクリックします。入力した文字の大文字と小文字は区別されます。



- (2) 「書き込み」ボタンをクリックすると、暗号キーが設定されます。



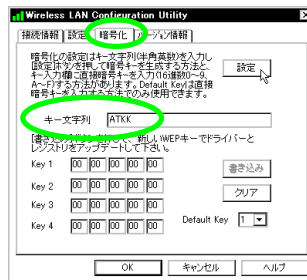
- (3) 「設定」タブをクリックします。「暗号」で「Mandatory」(暗号を使用する)を選択し、「設定変更する」ボタンをクリックします。



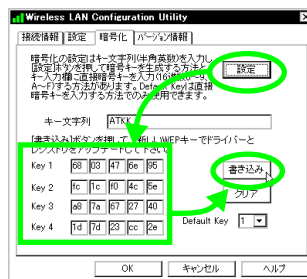
- (4) これで、コンピュータ A の設定は終了です。暗号を使用し通信するには、通信先のコンピュータにも同じ設定をしなければなりません。続いて、コンピュータ B の設定を行います。ただし、暗号キーの設定後、「Configuration Utility」を終了（「Wireless LAN Configuration Utility」ウィンドウを閉じる）してから、再度、「Configuration Utility」を起動すると、「暗号化」タブには、設定したキー文字列や暗号化キーは表示されません。

コンピュータ B の設定

- (1) 「Configuration Utility」の「暗号化」タブをクリックします。「キー文字列」に、コンピュータ A で入力したのと同じ文字列を入力します。このとき、大文字と小文字は区別されますので、注意して入力してください。



- (2) 「設定」ボタンをクリックすると、コンピュータ A で表示されたのと同じキーが表示されます。「書き込み」ボタンをクリックすると、キーが設定されます。



- (3) 「設定」タブをクリックします。「暗号」で「Mandatory」（暗号を使用する）を選択し、「設定変更する」ボタンをクリックします。



- (4) これで2台のコンピュータの設定は終了です。

「暗号化」タブで、キー文字列を入力して暗号化キーを設定する場合には、「default key」の設定は無効です。「default key」の設定は「キー文字列」を入力せず、「key1 ~ key4」に直接数値（16進数値）を入力した場合に有効となります。

2.2.2 コンピュータの「ネットワーク」設定

「NetBEUI」を使用した、ファイルなどの共有

コンピュータについて以下の設定が必要になります。

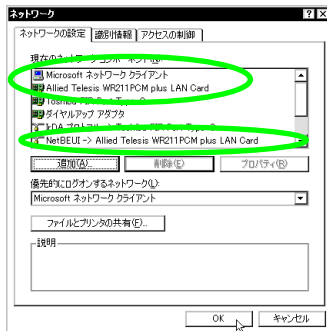
「NetBEUI」、「Microsoft ネットワーククライアント」の確認

ユーザー情報、または識別情報（コンピュータ名、ワークグループ）の確認

コンピュータの共有設定（ハードディスク・プリンター等の共有）

「NetBEUI」、「Microsoft ネットワーククライアント」の確認

- (1) 「スタート」「設定」「コントロールパネル」を選択します。
- (2) 「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。
- (3) 「ネットワーク設定」タブの「現在のネットワークコンポーネント」に、「NetBEUI」、「Microsoft ネットワーククライアント」と「Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card」が表示されていることを確認します。

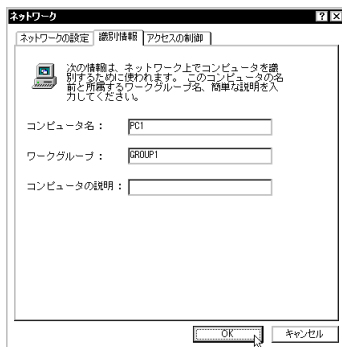


「NetBEUI」と「Microsoft ネットワーククライアント」が「現在のネットワークコンポーネント」に無い場合は、「追加」ボタンをクリックし、各プロトコルやサービスを追加してください。

識別情報の確認

以下の手順に従い、「識別情報」を確認します。

- (1) 「識別情報」タブをクリックします。



- (2) 「コンピュータ名」、「ワークグループ」、「コンピュータの説明」を設定します。



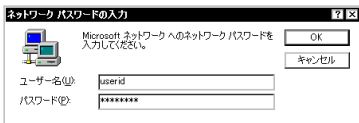
重要 :ワークグループ名は、ピアツーピア接続する全てのコンピュータに同じ名前を設定してください。また、Windows の OS 自体が、コンピュータ名・ワークグループ名の漢字（日本語・カナ）に対応していません。必ず半角英数をご使用ください。

- (3) Windows の再起動が要求されますので、「OK」ボタンを押して、再起動します。



要求されない場合でも、設定を有効にしますので手動で再起動してください。

- (4) Windows が再起動され「ネットワークパスワードの入力」画面が表示されます。

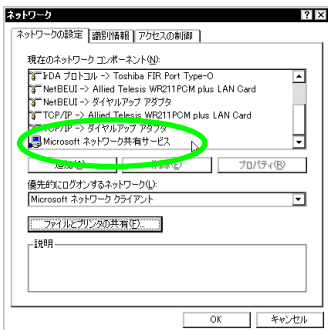


「ユーザー名」と「パスワード」は毎回、必ず入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。入力しない場合は、ネットワークでの通信ができなくなる可能性があります。

コンピュータの共有設定

ここでは、ハードディスクの共有について説明します。プリンターを共有する場合は、プリンターメーカーによって操作が異なりますので、プリンターメーカーにご相談ください。「Cドライブ」を共有するときの手順を例に説明します。

- (1) 「ネットワーク設定」タブの「現在のネットワークコンポーネント」に、「Microsoft ネットワーク共有サービス」が表示されていることを確認します。



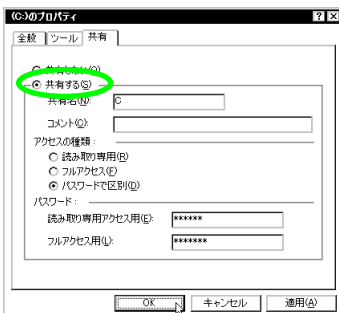
表示されていない場合は、「ファイルとプリンタの共有」ボタンをクリックし、「ファイルを共有できるようにする」をチェックして、「OK」ボタンをクリックします。

- (2) デスクトップ上の「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。

- (3) 「マイコンピュータ」ダイアログの「(c:)」ドライブアイコン上でマウスの右ボタンをクリックし、メニューを表示して「共有」を選択します。



- (4) 「共有」タブをクリックし、「共有する」ラジオボタンをチェックします。「共有名」、「アクセス権の種類」、「パスワード」などの項目を運用方法に合わせて設定します。



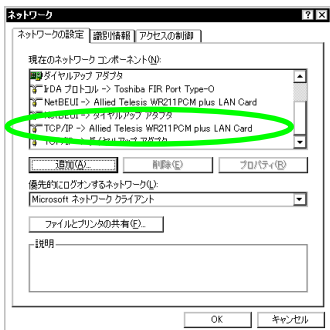
- (5) C ドライブが共有できる状態になります。



「TCP/IP」プロトコルを使用

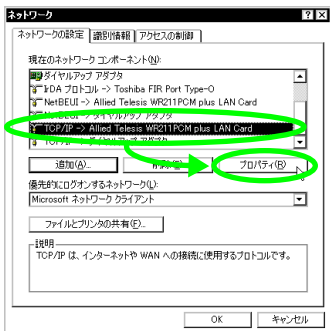
- (1) 「スタート」「設定」「コントロールパネル」を選択します。
 (2) 「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。

- (3) 「ネットワーク設定」タブの「現在のネットワークコンポーネント」に、「TCP/IP」と「Microsoft ネットワーククライアント」が表示されていることを確認します。

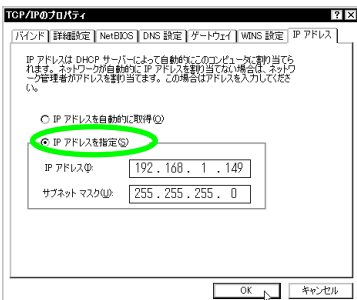


「TCP/IP」が「現在のネットワークコンポーネント」に無い場合は、「追加」ボタンをクリックし、プロトコルを追加してください。

- (4) 「TCP/IP」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします。



- (5) 「IP アドレス」タブで、「IP アドレスを指定」をチェックし、IP アドレスなどを設定します。



「IP アドレスを自動的に取得」

DHCP サーバには、IP アドレスを自動的に割り当て、管理する機能があり、DHCP サーバがネットワーク上に存在する場合は、「IP アドレスを自動的に取得」を選択することができます。

無線 LAN ネットワーク上に、Windows NT サーバやダイヤルアップモデムなどの DHCP サーバ機能をもった機器がない場合には、IP アドレスは手動で設定しなければなりません。無線 LAN ネットワーク上に、Windows 98/95 のコンピュータしかない場合は、DHCP サーバは存在しません。

「IP アドレスを設定」

ネットワーク上の他のコンピュータに、既に IP アドレスが割り振られている場合には、ネットワーク管理者に IP アドレスを確認してください。

2.2.3 ネットワーク接続の確認

ネットワーク接続に関する設定が終了したら、正しくネットワーク接続ができているかどうかを確認します。

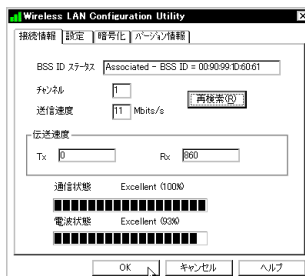
アクセスポイントとの接続状態の確認

「Infrastructure」モード時には、「Configuration Utility」の「接続情報」タブで、アクセスポイントとの接続状態を確認することができます。

- (1) タスクバーに表示されている無線アイコンをクリックします。タスクバーに表示される無線アイコンは、通信モードの設定などにより異なります。無線アイコンの種類については、「2.1.5 無線アイコンの表示」(p.14) を参照してください。

タスクバーに無線アイコンが表示されていない場合は、「スタート」メニューから「プログラム」 「CentreCOM WR211PCM plus」 「Configuration Utility」を選択すると、アイコンが表示されます。

- (2) 「接続情報」タブをクリックすると、アクセスポイントとの接続状態を確認できます。



- 「BSS ID ステータス」
アクセスポイントと接続できていれば、「Associated - BSS ID = (アクセスポイントの) MAC アドレス」が表示されます。接続できない場合は、「Scanning」と表示されます。
- 「チャンネル」
現在使用しているチャンネルが表示されます。
- 「送信速度」
無線 LAN ネットワークを構成する機器が対応している送信速度 (単位は、Mbps) が表示されます。送信速度は、「1、2、5.5、11」のうちのどれかが表示されます。
- 「伝送速度」
現在の送信速度(「Tx」)と受信速度(「Rx」)が表示されます。
- 「通信状態」
現在の通信状態を、「Excellent、Good、Fair、Poor、Not Connected、Not Applicable」の 6 段階と、「%」で表示します。また、通信状態の変化を、ステレオのレベルメータのように表示します。
- 電波状態
現在の電波の状態を、「Excellent、Good、Fair、Poor、Not Connected、Not Applicable」の 6 段階と、「%」で表示します。また、電波状態の変化を、ステレオのレベルメータのように表示します。
- 「再検索」ボタン
電波状態が悪くなった場合に、このボタンをクリックして、電波状態の良いアクセスポイントを検索します。電波状態の良いアクセスポイントが見つかった場合には、自動的に接続を切り替えます。

ローミング機能

本製品は、ローミング機能 (複数のアクセスポイントがある場合、電波状態により、接続するアクセスポイントを自動的に切り替える機能) に対応していますので、複数のアクセスポイント間を移動しても、再接続などの必要はありません。



注意

ローミング中は、ネットワーク接続が切断されたり、データ転送の遅延が発生することがあります。データの送受信 (ファイルの転送中など) には、アクセスポイント間を移動しないようにしてください。

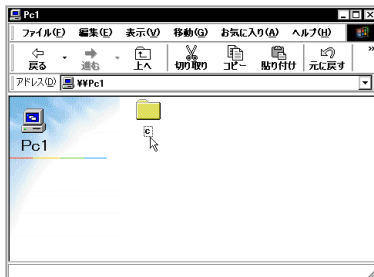
「ネットワークコンピュータ」から確認する

- (1) 「ネットワークコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。

- (2) 「ネットワークコンピュータ」に、無線 LAN で接続されているコンピュータが表示されます。



- (3) 接続先のコンピュータのアイコンをダブルクリックすると、共有しているファイルを参照することができます。



「Ping」で接続を確認



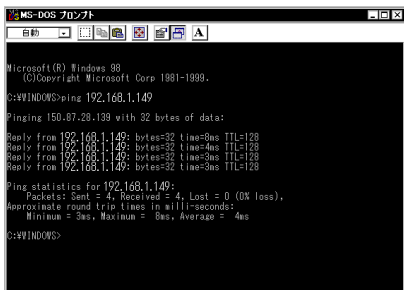
「Ping」コマンドを実行するには、TCP/IP プロトコルがインストールされていないとできません。

- (1) コンピュータのネットワーク設定で、「TCP/IP」プロトコルの IP アドレスなどが正しく設定されていることを確認します。
- (2) 「スタート」メニューから、「プログラム」 「MS-DOS プロンプト」を選択します。
- (3) 「Ping」コマンドで、接続先のコンピュータの IP アドレスを指定し、通信できることを確認します。

コマンド入力例

```
C:¥WINDOWS>ping xxx. xxx. xxx. xxx
xxx. xxx. xxx. xxx の部分には、接続先のコンピュータの IP
アドレスを入力します。
```

- (4) 正常に通信ができている場合には、次のように表示されます。ここでは、接続先のコンピュータのアドレスを、「192.168.1.149」としています。



2.3 ホットスワップ（活線挿抜）に関するご注意

2.3.1 コンピュータへの取り付け

Windows 98/Meはホットスワップ（活線挿抜）をサポートしていますので、コンピュータの電源をオンにした状態で本製品をPCカードスロットに挿入することができます。

- (1) 「CentreCOM WR211PCM plus」の文字が印刷された面を上にして、本製品をコンピュータのPCカードスロットに挿入し、カチッと手応えがあるまで押し込んでください。



コンピュータ機種によっては、下に向けて装着するものもあります。間違って装着した場合、本製品やご使用のコンピュータの故障の原因となります。PCカード装着に関しては、必ずご使用のコンピュータのマニュアル等をご覧ください。

- (2) 本製品をPCカードスロットに挿入すると、Windows 98/MeはPlug & Play機能により本製品を検出します。

2.3.2 コンピュータからの取り外し

Windows 98/Meはホットスワップ（活線挿抜）をサポートしていますので、コンピュータの電源をオンにした状態で本製品をPCカードスロットから取り外すことができます。ただし、コンピュータの電源がオンの状態で本製品を取り外す場合は、必ず以下の手順で行ってください。



以下の手順を守らなかった場合、コンピュータのハングアップや、Windows 98/Me ファイルの破壊を招く恐れがあります。また、以下の手順をお守りいただかないで起こった障害に関してはユーザーサポートの対象外とさせていただきます。

- (1) ネットワークと通信を行っているアプリケーション、例えばInternet Explorer、Netscape Navigator、Telnet やデータベースアプリケーションなどをすべて終了してください。

「ネットワークドライブの割り当て」を行っている場合は、すべて切断してください。

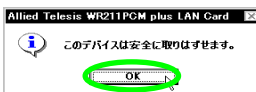
- (2) タスクバーのPCカードアイコン（通常デスクトップ右下）をクリックします。



- (3) 「Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card の中止」が表示されたら、バーをクリックします。



- (4) 「OK」ボタンをクリックします。



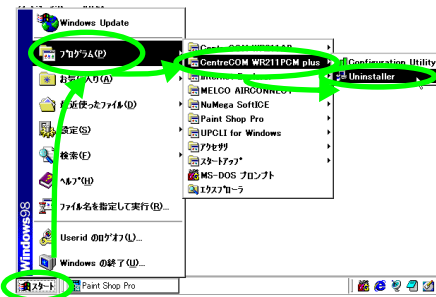
- (5) コンピュータのPCカード取り外しボタンを押してください。本製品は、PCカードスロットから外れ、手で取り出せる状態になります。

2.4 アンインストール

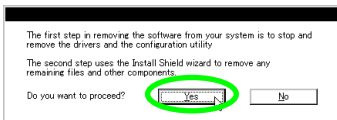
本製品をシステムから削除するには、「Uninstaller」を実行します。「Uninstaller」を実行すると、本製品のドライバとユーティリティプログラムの両方が削除されます。

2.4.1 「Uninstaller」を実行

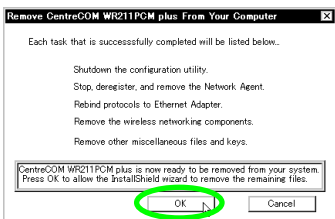
- (1) 「スタート」メニューから「プログラム」「CentreCOM WR211PCM plus」「Uninstaller」を選択します。



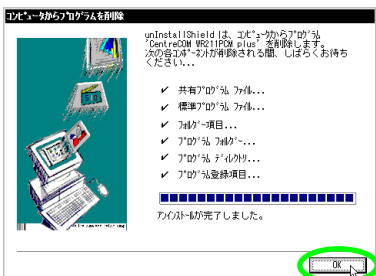
- (2) 次のダイアログが表示されたら、「Yes」ボタンをクリックします。



- (3) 「OK」ボタンをクリックします。



- (4) 「OK」ボタンをクリックします。Uninstaller プログラムは終了します。



2.4.2 本製品の取り外しの確認



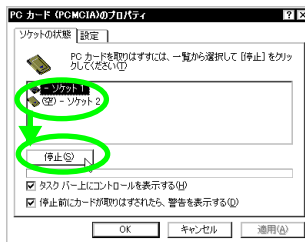
注意

本製品に触れる前に、あらかじめ他の金属部分（水道の蛇口、ドアノブ等）に触れて体内の静電気を放電してください。この時、ガス管など発火する危険性のあるものには、絶対に触れないようにしてください。

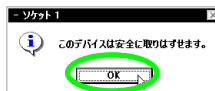
- (1) タスクバーに PC カードアイコンが表示されているかどうかを確認します。タスクバーに PC カードアイコンが表示されている場合は、アイコンをダブルクリックします。



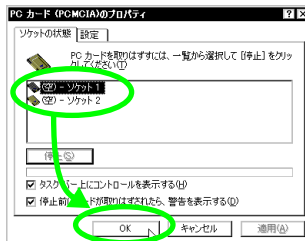
- (2) 本製品が挿入されているソケットを選択し、停止ボタンをクリックします。



- (3) 「OK」ボタンをクリックします。



- (4) 本製品が挿入されているソケットが「空」と表示されていることを確認し、「OK」ボタンをクリックします。



- (5) コンピュータの PC カード取り外しボタンを押してください。本製品は、PC カードスロットから外れ、手で取り出せる状態になります。

2.5 トラブルシューティング

ここでは、本製品使用中のトラブルの代表的な例と、その対処方法について説明します。主な現象ごとに、その原因と対応方法を説明していますが、よく分からない場合には、次の手順で本製品の状態を確認しながら、トラブルを解決してください。

- 1 PWR (Power) LED は点灯していますか？
- 2 本製品のドライバーが正しくインストールされていますか？
- 3 本製品の設定は正しいですか？
- 4 本製品を取り付けたコンピュータのネットワーク設定は正しいですか？



注意

以下の手順は、本製品を PC カードスロットに取り付けた状態で行ってください。

2.5.1 PWR (Power)LED が点灯していない

コンピュータに認識されない

本製品がコンピュータに正しく取り付けられていないと、コンピュータに認識されず、本製品のドライバーが自動的にインストールされない、PCカードが検出されないなどの現象が発生します。

原因 1

本製品が、コンピュータのPC カードスロットの奥まできちんと挿入されていない。

対応方法

「Power LED」が点灯していないような場合は、「2.3 ホットスワップ (活線挿抜) に関するご注意」(p.21) を参照し、本製品をコンピュータに正しく取り付けてください。



注意

コンピュータの機種によっては、本製品を PC カードスロットに挿入するときに、挿しにくい場合もありますが、本製品は、PC カードスロットの奥までしっかりと押し込むようにしてください。(奥までしっかり挿入されていないと、本製品が認識されないことがあります。)

原因 2

コンピュータの PC カードスロットが故障している。

対応方法

- ・PC カードスロットを複数装備しているコンピュータをご使用の場合は、違うスロットに取り付けて、本製品がコンピュータに認識されることを確認してください。
- ・別のコンピュータがある場合は、別のコンピュータの PC カードスロットに本製品を取り付けて、コンピュータに認識されることを確認してください。

2.5.2 ドライバーが正しくインストールされていない

「デバイスマネージャ」に本製品が正しく表示されない

「デバイスマネージャによるインストールの確認」(p.11) にしたがって確認を行うと、「Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card」アイコンが以下のようにになっている場合は、ドライバーのインストールに失敗しているために、次のような現象が発生します。

- ・「ネットワークアダプタ」の項目がない
- ・「その他のデバイス」や「不明なデバイス」の下に入ってしまった
- ・デバイスマネージャで「!」「?」マークが付く
- ・「Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card」アイコンが 2 つ以上ある

原因

本製品のドライバーが正しくインストールされていない。



「ネットワークアダプタ」の項目がないとか、本製品のアイコンが「その他のデバイス」や「不明なデバイス」の下に入ってしまう原因として、ドライバーのインストール中に行われる Windows 98/Me 関連ファイルのインストールをキャンセルしてしまった場合などが考えられます。

対応方法

本製品のドライバーを一旦削除し、新たにインストールしなおします。以下の手順を実行してください。

- (1) 不正にインストールされた「Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card」アイコンを選択し、「削除」ボタンをクリックします。
- (2) 「2.1 インストール」(p.10) の手順にしたがって、ドライバーをインストールしなおしてください。

デバイスマネージャで「×」が付く

原因

デバイスが「使用不可」に設定されている。

対応方法

次の手順にしたがって、「Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card」を「使用許可」の状態に切り替えます。

- (1) 「Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card」を選択 (反転表示) し、「プロパティ」ボタンをクリックし、「全般」タブを表示します(「デバイスマネージャによるインストールの確認」(p.11) 参照)。
- (2) 「デバイスの使用」欄の「このハードウェアプロファイルを使用不可にする」のチェック「✓」を外してください。

PCMCIA コントローラが正しく表示されない

「デバイスマネージャによるインストールの確認」(p.11) にしたがってインストールの確認を行った際に、「PCMCIA ソケット」の下に表示される PCMCIA コントローラのアイコンに「?」、「!」のマークが付いている場合は、PCMCIA コントローラが正しくインストールされていません。

原因

本製品のドライバーは、PCMCIA コントローラと協調して動作します。そのため、PCMCIA コントローラが正しくインストールされていない状況では、本製品のドライバーは動作することができません。



警告

ご使用のコンピュータの PCMCIA コントローラ専用ドライバーが、フロッピーディスクなどで提供されていることがあります。以下で説明する手順を実行する前に、必ずご使用のコンピュータのマニュアルを確認し、そのマニュアルに記載されている手順で PCMCIA コントローラの再インストールを行ってください。また、専用のドライバーが提供されていない場合は、どのようなドライバーがインストールされているかを記録した後(下記参照) 以下の手順を実行してください。



このようときは、Windows 98/Me のシステムレポート出力機能を利用すると便利です。レポートを出力するには、「コントロールパネル」 「システム」 「デバイスマネージャ」とたどり、「印刷」ボタンをクリックします。「レポートの種類」では「すべてのデバイスとシステムの概要」を選択し、以後画面の指示にしたがってください。



注意

CardBus 対応のコンピュータ機種には、使用する PC カードに応じて 2 種類 (16bit/32bit) の PCMCIA コントローラを切り替えなければならない場合がありますのでご注意ください。詳細は、ご使用のコンピュータのマニュアルもしくは、コンピュータのメーカーにご確認ください。

対応方法

次の手順を実行し、PCMCIA コントローラ用ドライバーをインストールし直します。

- (1) 「コントロールパネル」 「システム」 「デバイスマネージャ」と進みます。
- (2) 「PCMCIA ソケット」の下にある PCMCIA コントローラを選択し、「削除」ボタンをクリックしてください。
- (3) 「デバイス削除の確認」ダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。
- (4) 「デバイスマネージャ」から「PCMCIA ソケット」のアイコンが消えていることを確認します。
- (5) Windows 98 を終了し、コンピュータの電源をオフにした後、本製品を PC カードスロットから取り外します。
- (6) 再びコンピュータの電源をオンにします。「コントロールパネル」ウィンドウを表示し、「PC カード (PCMCIA)」アイコンが消えていることを確認します。



Plug & Play 機能により、ドライバーを自動的に読み込んでしまうコンピュータ機種もあります。

- (7) 「ハードウェアの追加」アイコン (コントロールパネル) をダブルクリックしてください。「ハードウェアの追加ウィザード」が起動したら、「次へ」ボタンをクリックしてください (「ハードウェアウィザード」の実行には数分の時間がかかります)。
- (8) 「はい (通常はこちらを選んでください)」を選択し、続く 2 つの質問に対して「次へ」ボタンをクリックして進みます。最後に「完了」ボタンをクリックしてハードウェアウィザードを終了してください。
- (9) 続いて、自動的に「PC カード (PCMCIA) ウィザード」が起動します。表示されるメッセージにしたがって操作してください。

リソース値重複の回避

前述の手順にしたがってドライバーの削除および再インストール作業を行っても、なおアイコンに「?」、「!」マークが付いていることがあるかもしれません。

原因

他の拡張アダプターとリソースの値が重複している可能性があります。

対応方法

特に、Plug & Play に対応していない他の拡張アダプターを本製品とともに使用している場合は、その拡張アダプターが使用するリソース値を Windows 98/Me に予め登録 (「予約」と呼びます) し、その値が他の Plug & Play 対応デバイス (本製品を含む) によって使用されないように設定することで、値の重複を回避できます。

- (1) Plug & Play 非対応の拡張アダプターが使用するリソースの値 (インタラプト (IRQ)、I/O ベースアドレス、メモリ、ダイレクトメモリアクセス (DMA)) を調べておきます。詳細は、その拡張アダプターのマニュアルをご覧ください。または、メーカーにお問い合わせください。
- (2) 「コントロールパネル」 「システム」 「デバイスマネージャ」 「コンピュータ」 「コンピュータのプロパティ」 パネル 「リソースの予約」と進みます。
- (3) 該当する項目を選択し、「追加」ボタンをクリックします。画面の指示にしたがって予約するリソースの値を登録してください。

2.5.3 本製品の設定が正しくない

本製品を取り付けたコンピュータ同士で通信ができない

本製品の設定がコンピュータ同士で異なっていると、正しく通信できません。



次に説明する原因と対応方法を参照して、「Configuration Utility」で、正しく設定し直してください。

原因	対応方法
「通信モード」は「AdHoc」ですか？	本製品を取り付けたコンピュータ同士で通信を行うには、「通信モード」を「AdHoc」に設定します。
「暗号」設定は、合っていますか？	本製品を取り付けたコンピュータの暗号設定は、同じ設定にします。
「チャンネル」の設定は合っていますか？	本製品を取り付けたコンピュータの「チャンネル」は、同じチャンネルを設定します。

アクセスポイントを使用して通信できない

本製品を取り付けたコンピュータとアクセスポイントが接続できないと、通信はできません。次に説明する原因と対応方法を参照して、

「Configuration Utility」で、正しく設定し直してください。

原因	対応方法
無線アイコンが  の場合	
アクセスポイントの電源は入っていますか	アクセスポイントの電源をオンにしてください。
アクセスポイントが、見通せる位置に設置されていますか？	本製品を取り付けたコンピュータとアクセスポイントの距離を近づけたり、障害物をなくして見通しを良くしてください。
無線アイコンが  の場合	
「通信モード」は「Infrastructure」ですか？	アクセスポイントを使用して通信を行うには、「通信モード」を「Infrastructure」に設定します。
「SSID」の設定は、合っていますか？	本製品を取り付けたコンピュータとアクセスポイントの「SSID」には、同じ文字列を設定します。
「暗号」設定は、合っていますか？	本製品を取り付けたコンピュータとアクセスポイントの暗号設定は、同じ設定にします。

アクセスポイントの設定方法につきましては、アクセスポイント付属のユーザーマニュアルをご覧ください。

2.5.4 本製品を取り付けたコンピュータのネットワーク設定が正しくない

「ネットワークコンピュータ」に他のコンピュータが表示されない

原因 1

ネットワークの設定が正しくない。

対応方法

「 「NetBEUI」を使用した、ファイルなどの共有」(p.17)を参照し、必要なプロトコルがインストールされているか、コンピュータの識別情報が正しく設定されているか、共有設定が正しくなされているかを確認し、正しく設定し直します。

原因 2

TCP/IP プロトコルがインストールされていない。または設定が正しくない。

対応方法

「 「TCP/IP」プロトコルを使用」(p.18)を参照し、TCP/IP の設定を確認します。

原因 3

ネットワークパスワードを入力していない。

対応方法

コンピュータを再起動して、ネットワークパスワードを入力します。

本製品を取り付けたコンピュータ同士、またはアクセスポイントと通信ができない

原因 1

TCP/IP プロトコルがインストールされていない。または設定が正しくない。

対応方法

「 「TCP/IP」プロトコルを使用」(p.18)を参照し、TCP/IP の設定を確認します。

原因 2

電波状態が悪い

対応方法

本製品を取り付けたコンピュータ間の距離を短くしたり、障害物をなくして見通しを良くしてから、再度通信してください。

2.5.5 正常に動作しない

原因 1

ご使用のコンピュータのパワーマネージメント機能、サスペンドレジューム機能が動作している。

対応方法

パワーマネージメント機能、サスペンドレジューム機能の設定をオフ(無効)にしてください。(詳細については、コンピュータのマニュアルを参考にしてください。)

3 Windows NT 4.0

3.1 インストール

本製品を Windows NT 4.0 上にインストールする手順を説明します。

本書では、下記の条件を仮定したインストール例を示します。

- ・ ネットワークアダプター用ドライバーを含むネットワーク環境は全くインストールされておらず、これからインストールする
- ・ Windows NT Workstation Ver. 4.0 を使用し、Windows NT が要求する問い合わせに対して、基本的にデフォルトで答える
- ・ サービスパック 3 以上がインストールされている

インストールは、次の 2 段階の手順で実行してください。

- 1 本製品のユーティリティプログラムをインストールする
- 2 コンピュータの電源をオフにしてから、本製品を取り付け、コンピュータを再起動する

3.1.1 インストール時のご注意

本製品のインストールを始める前に、以下のことをご確認ください。各操作・設定の手順については Windows NT のマニュアル・ヘルプをご覧ください。



警告

Windows NT のハードウェア互換性リスト(Windows NT バックアップに同梱されています)に挙げられていないコンピュータ機種で本製品をご使用になる場合は、お客様の責任においてご使用ください。それらのコンピュータ機種で本製品をご使用になる場合は、ユーザーサポートの対象外とさせていただきますのであらかじめご了承ください。



警告

Windows NT では、活線挿抜(コンピュータの電源をオンにしたままで、カードの抜き差しを行うこと)はできません。本製品の取り付け、取り外しを行う際には、必ずコンピュータの電源がオフになっていることをご確認ください。誤って活線挿抜を行った場合に起こった障害に関しては、ユーザーサポートの対象外とさせていただきますので、ご了承ください。



注意

PC98-NX シリーズにインストールされた Windows NT のもとで本製品をご使用になる場合、NEC によって保証されていないインストール環境での使用は、お客様の責任において行ってください。それらの環境で本製品をご使用になる場合は、ユーザーサポートの対象外とさせていただきますのであらかじめご了承ください。



注意

本製品のインストールを Windows NT のインストールと同時に行うことは避けてください。必ず、Windows NT のインストールを完了したあとで、本製品のインストールを行ってください。Windows NT は Plug & Play をサポートしていないため、Windows NT と本製品のインストールを同時に行うと

Windows NT のインストール中に本製品が使用するハードウェアリソースが他のデバイスと重複するおそれがあり、重複の回避に手間取ることがあります。



注意

以下にあげる手順は一例です。お客様の環境によっては、手順や表示画面が異なることがあります。

3.1.2 インストールを始める前に

用意するもの

- ・ WR211PCM plus カード本体
- ・ コンピュータ(Windows NT 4.0、サービスパック 3 以上のインストール済み)
- ・ 「セットアップユーティリティディスク」2 枚
- ・ Windows NT の CD-ROM
- ・ Windows NT サービスパック (サービスパック 3 以上)



注意

Windows NT が、コンピュータ購入時にあらかじめインストールされた形態で提供されたもの、すなわちプリインストール版である場合は、Windows NT のバックアップ CD-ROM が付属しているかどうかをご確認ください。バックアップ CD-ROM が付属していない場合は、安全のため必ずフロッピーディスク等に Windows NT のバックアップをとった後でドライバーのインストールを開始してください。バックアップの手順については、ご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。コンピュータメーカーにご確認ください。



注意

ハードディスク内のデータは、必ずフロッピーディスク等にバックアップをとった後で、ドライバーのインストールを開始してください。特に重要なデータについては、必ずバックアップをとられることをお勧めします。

また、いかなる場合でも、データが消失または破損したことによる損害については、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

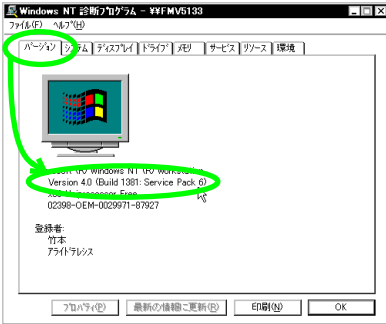
サービスパックの確認

本製品をインストールする前に、Windows NT のサービスパックがインストールされているかを確認してください。確認の手順は、次の通りです。

- (1) 「スタート」メニューから、「プログラム」 「管理ツール」 「Windows NT 診断プログラム」を選択します。



- (2) 「バージョン」タブに表示される、「Service Pack」の数字を確認します。



表示が「Service Pack 3」以上であることを確認します。
 本製品のインストール後、コンピュータを再起動する前には、必ず、サービスパクの再インストール（確認したのと同じサービスパクをインストールする）を行ってください。サービスパクをインストールせずにコンピュータを再起動すると、Windows NT が起動できなくなることがあります。

リソースの確認

Windows NTは、Plug & Playをサポートしていないため、本製品が使用するリソースの値を設定しなければなりません。そのため、ドライバーをインストールする前に、リソースの空き状況調べする必要があります。

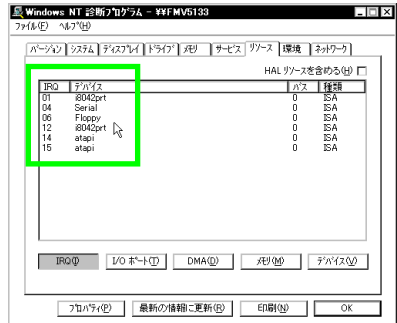
本製品のドライバーが使用するリソースの工場出荷時の値が既に他のデバイスによって使用されている場合は、本製品の設定を変更します。本製品の設定を変更するには、「3.1.3 ユーティリティプログラムのインストール」(p.27)の手順に従いユーティリティプログラムをインストールした後、コンピュータに本製品を取り付けずに再起動し、「アダプタ」の「プロパティ」でリソースの値を変更します。（「3.4 トラブルシューティング」(p.33)「3.4.1 正しく動作しない」の原因2参照）

本製品のドライバーが使用するリソースの、工場出荷時の値は次の通りです。

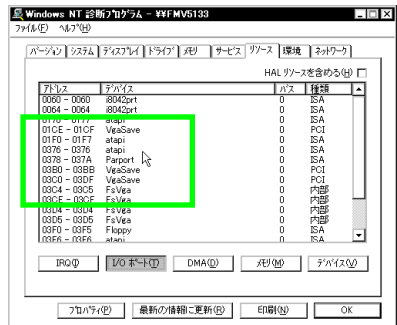
- ・ IRQ（インタラプト） 10
- ・ I/Oポート（I/O ベースアドレス） 0x300

リソースの空き状況は、次の手順で調べます。

- (1) 「Windows NT 診断プログラム」の「リソース」タブをクリックします。
- (2) 「IRQ」ボタンをクリックし、インタラプトの空き状況を確認します。



- (3) 「I/O ポート」ボタンをクリックし、I/O ベースアドレスの空き状況を確認します。



コンピュータにあらかじめ組み込まれているデバイスの中には「Windows NT 診断プログラム」上に表示されないものもあります。コンピュータのマニュアルと「Windows NT 診断プログラム」の両方を用いて確認を行ってください。

- (4) 「Windows NT 診断プログラム」を終了します。
- ### 3.1.3 ユーティリティプログラムのインストール

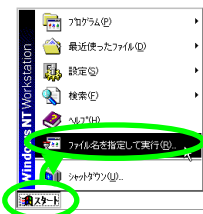
- (1) 本製品をコンピュータのPCカードスロットに取り付けずに、コンピュータの電源をオンにし Windows NT を起動します。
- (2) 「Administrator」または Administrators グループのユーザー名でログオンします。

- (3) ユーティリティープログラムをインストールする前に、コンピュータの起動処理が終了していることを確認してください。起動処理が終了していないと、正しくインストールできません。起動処理の終了を確認するには、「コントロールパネル」の「ネットワーク」を起動します。エラーが表示されずに「ネットワーク」が表示されれば、起動処理は終了しています。

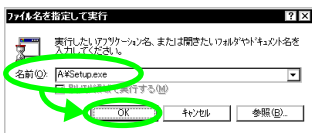


ユーティリティープログラムのインストール中にエラーが表示された場合は、本製品のインストールが正しく終了していません。

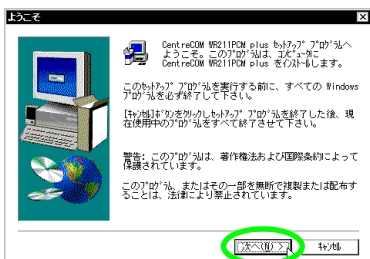
- (4) 「スタート」メニューから「ファイル名を指定して実行」を選択します。



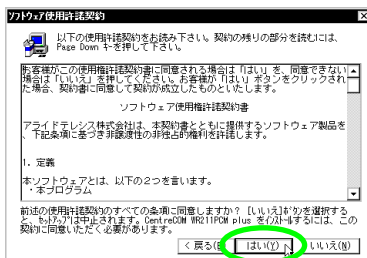
- (5) 「セットアップユーティリティーディスク 1of2」をフロッピーディスクドライブに挿入し、「名前」に「A:\%Setup.exe」と入力し、「OK」ボタンをクリックします（ここではフロッピーディスクドライブを「A:」、AT 互換機を仮定します）。



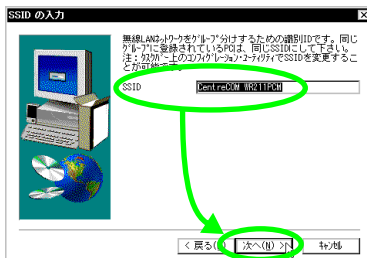
- (6) 「Setup」プログラムを実行する前に、他のプログラムを終了し、「次へ」ボタンをクリックします。



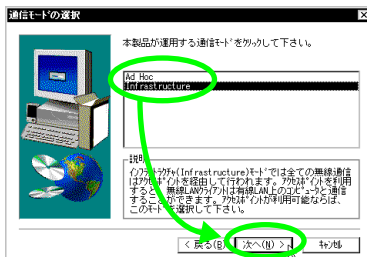
- (7) 「ソフトウェア使用権許契約書」の内容を確認し、「はい」ボタンをクリックします。



- (8) 「SSID」を設定し、「次へ」ボタンをクリックします。アクセスポイントを使用して通信を行う場合は、アクセスポイントと同じ SSID を設定してください。また、SSID は、セキュリティ確保のためにも、独自の SSID を設定してください。



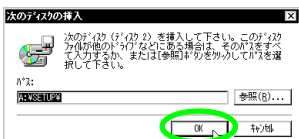
- (9) 「通信モード」を設定し、「次へ」ボタンをクリックします。アクセスポイントを使用して通信を行う場合は、「Infrastructure」を、無線 LAN カード同士で通信を行う場合は、「AdHoc」に設定します。



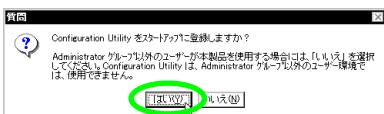
- (10) ユーティリティープログラムのインストール先を指定します。表示されているインストール先を変更したい場合は、「参照...」ボタンをクリックし、変更先を指定します。インストール先が決まったら、「次へ」ボタンをクリックします。



- (11) ファイルのコピーが始まります。次のダイアログが表示されたら、フロッピーディスクを「セットアップユーティリティーディスク 2of2」に交換し、「OK」ボタンをクリックします。




- (12) 「Configuration Utility をスタートアップに登録しますか？」と聞かれたら、通常は「はい」をクリックします。「Configuration Utility」は、Administratorsグループのユーザーだけが使用することができます。Administratorsグループ以外のユーザーも本製品を使用する場合は、「いいえ」を選択します。

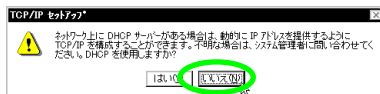


- (13) ネットワークがインストールされます。Windows NTのCD-ROMが要求されますので、CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入し、「OK」ボタンをクリックします（ここではCD-ROMドライブを「D:」AT互換機を仮定します）。

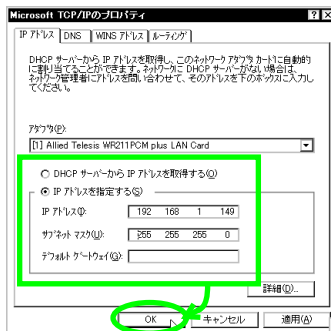


 CDの内容がハードディスクにコピーされている場合には、そのパス名を入力します。

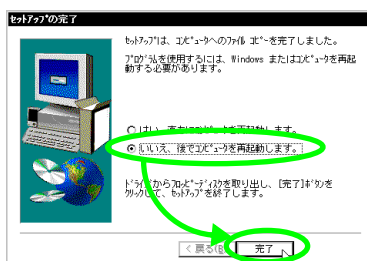
- (14) 「DHCPを使用するか？」と聞かれたら、「いいえ（デフォルト設定）」ボタンをクリックします。



- (15) 「TCP/IP」の設定を行い、「OK」ボタンをクリックします。実際には、ご使用の環境にあった設定をしてください。



- (16) ユーティリティープログラムを使用する前に、コンピュータを再起動する必要があります。ここでは、「いいえ、後でコンピュータを再起動します。」を選択し、フロッピーディスクドライブからディスクを抜き、「完了」ボタンをクリックします。



- (17) ここで必ず、サービスパック3以上をインストールし直してください。

- (18) 「スタート」メニューから、「シャットダウン」「コンピュータをシャットダウンする」をクリックし、コンピュータの電源をオフにします。

3.1.4 コンピュータへの取り付けと再起動



本製品に触れる前に、あらかじめ他の金属部分（水道の蛇口、ドアノブ等）に触れて体内の静電気を放電してください。このとき、ガス管など発火する危険性のあるものには、絶対に触れないようにしてください。

- (1) 「WR211PCM plus」の文字が印刷された面を上にして、本製品をコンピュータのPC カードスロットに挿入し、カチッと手応えがあるまで押し込んでください。



コンピュータの機種によっては、下に向けて装着するものもあります。間違えて装着した場合、本製品やご使用のコンピュータの故障の原因となりますので、PC カードの装着に関しては、必ず、ご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

- (2) コンピュータの電源をオンにします。



本製品のインストール後、初めて本製品をコンピュータに取り付けて再起動したときに、「コンピュータが正しく起動しない」などの問題が発生した場合は、本製品のリソースが別のデバイスと競合していることが考えられます。「3.4トラブルシューティング」(p.33)の「3.4.1 正しく動作しない」の原因2を参照して、リソースの設定を変更してください。

3.1.5 インストールの確認と本製品の設定

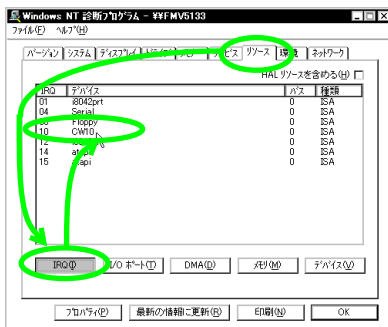
コンピュータの再起動後、まず本製品が正しくインストールされていることを確認してから、本製品の設定を行います。

リソース値の確認

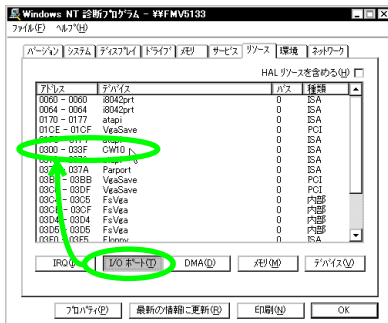
コンピュータを再起動すると、本製品に対してリソース（I/O アドレス、インタラプト）が割り当てられます。割り当てられた値を確認するには Windows NT 診断プログラムをご使用ください。手順は次の通りです。

- (1) 「Administrator」または Administrators グループのユーザー名でログオンします。
- (2) 「スタート」メニューから「プログラム」「管理ツール」「Windows NT 診断プログラム」を選択します。

- (3) 「リソース」タブをクリックし、「IRQ」ボタンをクリックして、インタラプトの値を確認します。



- (4) 「I/O ポート」ボタンをクリックして、I/O ベースアドレスの値を確認します。



アダプターの確認

- (1) 「コントロールパネル」の「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。

- (2) 「アダプタ」タブをクリックし、「ネットワークアダプタ」に、「Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card」が表示されていることを確認します。



本製品の設定

- (1) タスクバーに表示されている無線アイコンをクリックします（ここでは「アクセスポイント検索中」のアイコンを例とします）。



無線アイコンが表示されていない場合は、「スタート」メニューから「プログラム」 「WR211PCM plus」 「Configuration Utility」を選択すると、無線アイコンが表示されます。

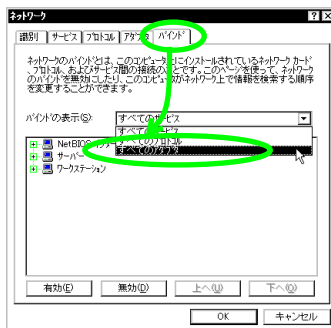
- (2) 本製品の設定を行います。「2.2.1 本製品の設定」(p.14)を参照し、「アクセスポイントを使用してネットワーク接続する場合」または「本製品を取り付けたコンピュータ同士をネットワーク接続する場合」の設定を行ってください。

3.1.6 本製品を使用しないとき

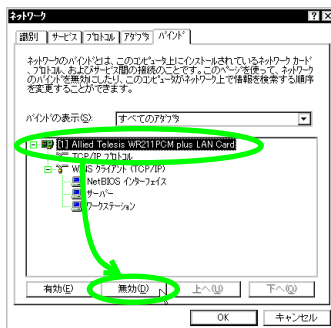
本製品のインストール後、一時的に本製品を使用しないとき、例えば本製品をコンピュータから取り外す場合などは、ドライバーをアンロードしてください。ドライバーがロードされたままにしておくと、Windows NTはこれらの現象をネットワークのエラーとして検出し、イベントビューアによる警告が表示されるようになります。この現象はドライバーをアンロードする（バインドしない）ことによって回避できます。

- (1) 「Administrator」または Administrators グループのユーザー名でログオンします。
- (2) 「コントロールパネル」の「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。

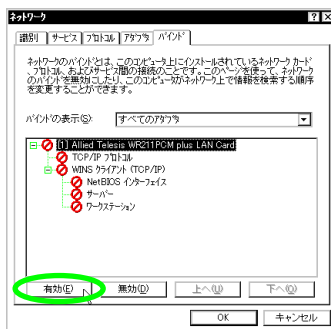
- (3) 「バインド」タブをクリックし、「バインドの表示」で、「すべてのアダプタ」を選択します。



- (4) 本製品のアイコン「Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card」を選択し、「無効」ボタンをクリックして、「バインドしない」設定をします。



- (5) 使用を再開する場合は、本製品のアイコンを選択し、「有効」ボタンをクリックします。



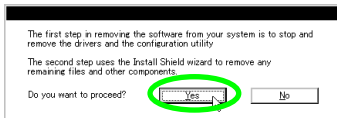
3.2 アンインストール

本製品をシステムから削除するには、「Uninstaller」を実行します。「Uninstaller」を実行すると、本製品のドライバーとユーティリティープログラムの両方が削除されます。

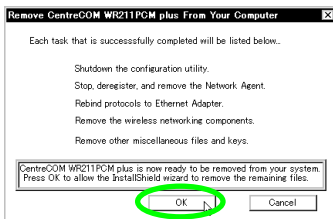
- (1) 「Administrator」または Administrators グループのユーザー名でログオンします。
- (2) 「スタート」メニューから「プログラム」「CentreCOM WR211PCM plus」「Uninstaller」を選択します。



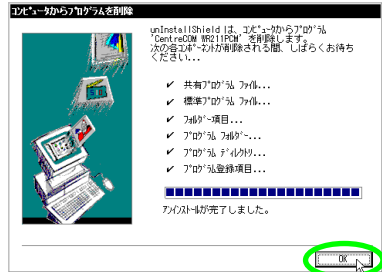
- (3) 次のダイアログが表示されたら、「Yes」ボタンをクリックします。



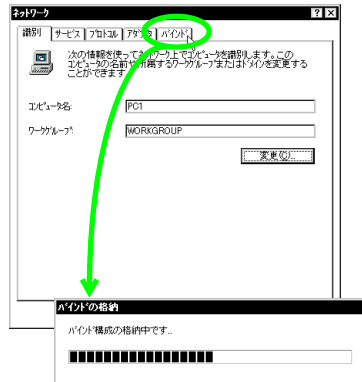
- (4) 「OK」ボタンをクリックします。



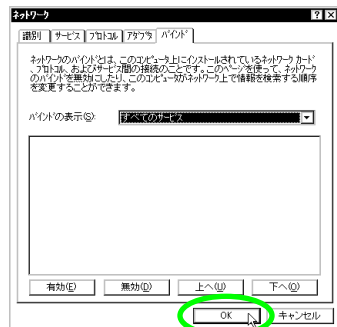
- (5) 「OK」ボタンをクリックします。Uninstaller プログラムは終了します。



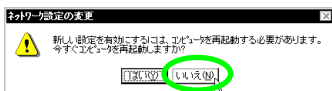
- (6) 「コントロールパネル」の「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。
- (7) 「バインド」タブをクリックすると、「バインドの格納」が行われます。



- (8) 「OK」ボタンをクリックします。



- (9) 「コンピュータを再起動しますか?」と聞かれたら、「いいえ」ボタンをクリックします。



- (10) 「スタート」メニューから、「シャットダウン」「コンピュータをシャットダウンする」をクリックし、コンピュータの電源をオフにします。



本製品に触れる前に、あらかじめ他の金属部分(水道の蛇口、ドアノブ等)に触れて体内の静電気を放電してください。この時、ガス管など発火する危険性のあるものには、絶対に触れないようにしてください。

- (11) コンピュータのPCカード取り外しボタンを押して、本製品を取り外します。

3.3 本製品の取り付け・取り外し

Windows NT4.0の場合、本製品のPCカードスロットへの取り付け、取り外しは、必ずコンピュータの電源をオフにしてから実行してください。



Windows NTでは、活線挿抜(コンピュータの電源をオンにしたままで、カードの抜き差しを行うこと)はできません。本製品の取り付け、取り外しを行う際には、必ずコンピュータの電源がオフになっていることをご確認ください。誤って活線挿抜を行った場合に起こった障害に関しては、ユーザーサポートの対象外とさせていただきますので、ご了承ください。



本製品に触れる前に、あらかじめ他の金属部分(水道の蛇口、ドアノブ等)に触れて体内の静電気を放電してください。この時、ガス管など発火する危険性のあるものには、絶対に触れないようにしてください。

3.3.1 PCカードの取り付け

文字が印刷された面を上にして、本製品をコンピュータのPCカードスロットに挿入し、カチッと手応えがあるまで押し込んでください。



コンピュータ機種によっては、下に向けて装着するものもあります。間違って装着した場合、本製品やご使用のコンピュータの故障の原因となります。PCカード装着に関しては、必ずご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

3.3.2 PCカードの取り外し

コンピュータのPCカード取り外しボタンを押してください。本製品は、PCカードスロットから外れ、手で取り出せる状態になります。

3.4 トラブルシューティング

ここでは、本製品のインストールに伴うトラブルの代表的な例と、その対処方法について説明します。

3.4.1 正しく動作しない

原因 1

サービスパック 3 以上がインストールされていない状態で、ユーティリティプログラムをインストールしてから、本製品を取り付けてコンピュータの電源をオンにすると、コンピュータが起動しないことがあります。

対応方法 1

この場合は、コンピュータの電源をオフにしてから本製品を取り外し、コンピュータの電源をオンにして、サービスパック 3 以上をインストールしてください。

原因 2

リソースが別のデバイスと競合している。

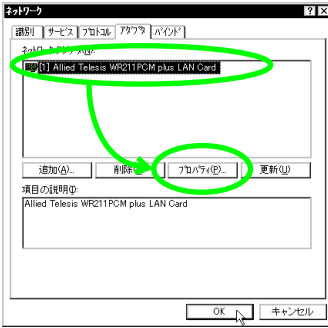
対応方法 2

「リソース値の確認」(p.30)を参照し、デバイス「CW10*」(*は番号)に正しくリソースが割り当てられていることを確認してください。正しく割り当てられていなかった場合は、次の手順に従って、「IRQ (インタラプト)」「I/Oポート (I/O ベースアドレス)」の設定を変更してみてください。「IRQ (インタラプト)」の推奨値は、次の通りです。

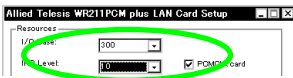
- 「AT 互換機および NEC PC98-NX シリーズ」
3、4、5、7、9、10、11、15
- 「PC-9821 シリーズ」
3、5、6、10、12

本製品のインストール後、初めて本製品をコンピュータに取り付けて再起動した場合に、「コンピュータが正しく起動しない」などの問題が発生した場合は、本製品をコンピュータから取り外してから、次の手順を実行してください。

- (1) 「Administrator」または Administrators グループのユーザー名でログオンします。
- (2) 「リソースの確認」(p.27)の手順に従って、空いているリソースを調べます。
- (3) 「コントロールパネル」の「ネットワーク」アイコンをダブルクリックし、「アダプタ」タブで「Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card」をクリックし、「プロパティ」ボタンをクリックします。



- (4) 「I/O Base」、 「IRQ Level」の値を、手順 (2) で調べた、空きリソースの値に変更し、「OK」ボタンをクリックします。



- (5) コンピュータを再起動します。
 本製品がコンピュータに取り付けられていない場合は、コンピュータの電源をオフにしてから、本製品を取り付け、電源をオンにしてください。

3.4.2 無線アイコンが表示されない

原因

エラーが発生し、「Configuration Utility」が起動できない。

対応方法

「Configuration Utility」は、Administrators グループ以外のユーザーは使用することができません。「Administrator」または Administrators グループのユーザー名でログインし直してください。

3.4.3 正しくインストールされない

原因

本製品のユーティリティプログラムをインストールするときに、コンピュータの起動処理が終了していないと、本製品は正しくインストールされません。

対応方法

本製品が正しくインストールされなかった場合には、「3.2 アンインストール」(p.32)の手順に従って本製品をアンインストールします。コンピュータの電源をオフにしてから本製品を取り外し、コンピュータの電源を ON にします。コンピュータの起動後しばらく(5分程度)待ってから、「3.1.3 ユーティリティプログラムのインストール」(p.27)の手順に従って、もう一度インストールし直してください。

3.4.4 その他

その他のトラブルにつきましては、「2.5 トラブルシューティング」(p.22)を参照してください。

4 Windows 2000

4.1 インストール

本製品を Windows 2000 に新規インストールする手順を説明します (ここでは、今までにネットワークアダプター用ドライバーをインストールしたことがなく、今回初めて本製品のドライバーをインストールする場合の手順について説明します)。インストールは、次の 2 段階の手順を実行してください。

- 1 本製品をコンピュータに取り付け、ドライバーをインストールする
- 2 ユーティリティプログラムをインストールする

アップデートインストールについて

すでに、Windows 98/95 で本製品を使用している状態から、Windows 2000 にアップデートする場合は、「4.3 アンインストール」(p.40)の手順に従い、ユーティリティプログラムとドライバーを削除してから、「4.1 インストール」の手順を参考にして、本製品をインストールし直してください。

4.1.1 用意するもの

- ・ WR211PCM plus カード本体
- ・ コンピュータ (Windows 2000 インストール済み)
- ・ 「セットアップユーティリティディスク」2枚

4.1.2 コンピュータへの取り付け



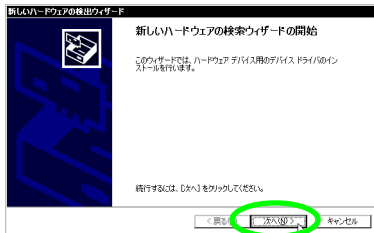
本製品に触れる前に、あらかじめ他の金属部分 (水道の蛇口、ドアノブ等) に触れて、体内の静電気を放電してください。このとき、ガス管など発火する危険性のあるものには、絶対に触れないようにしてください。



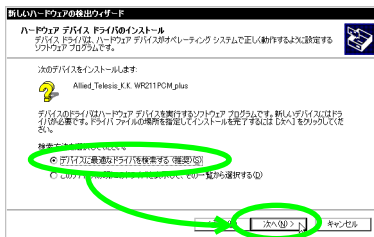
以下にあげる手順は一例です。お客様の環境によっては、手順や表示画面が異なることがあります。

- (1) 本製品をコンピュータの PC カードスロットに取り付けていない状態で、コンピュータの電源をオンにし、Windows 2000 を起動します。
- (2) 「Administrator」または Administrators グループのユーザー名でログオンします。
- (3) コンピュータの PC カードスロットに本製品を挿入してください。

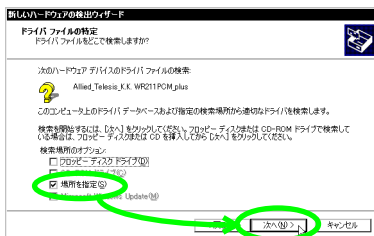
- (4) Windows 2000 は Plug&Play 機能により本製品が PC カードスロットに挿入されたことを自動的に検出し、「新しいハードウェアの検出ウィザード」を起動します。「次へ」ボタンをクリックします。



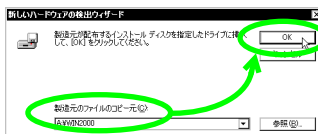
- (5) 検索方法の「デバイスに最適なドライバを検索する」をクリックし、「次へ」ボタンをクリックします。



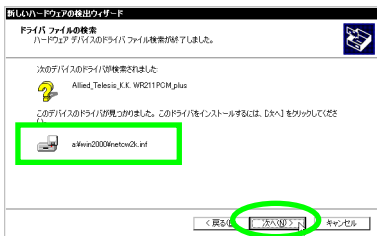
- (6) 「検索場所のオプション」で、「場所を指定」のみをチェックし、「次へ」ボタンをクリックします。



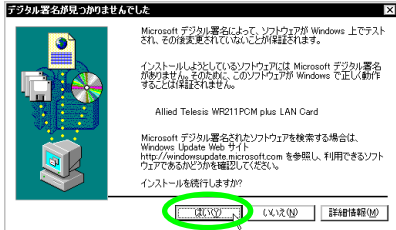
- (7) フロッピーディスクドライブに、セットアップユーティリティディスクの 1 枚目を挿入します。「製造元のファイルのコピー元」に「A:¥WIN2000」と入力し、「OK」ボタンをクリックします (ここではフロッピーディスクドライブを「A:」, AT 互換機を仮定します)。



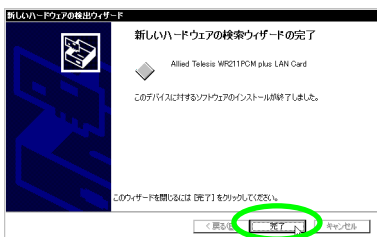
- (8) 「このデバイスのドライバ」が「a:\¥win2000¥netcw2k.inf」と表示されていることを確認し、「次へ」ボタンをクリックします。



- (9) 次のようなダイアログが表示されることがありますが、その場合は、「はい」をクリックしてインストールを続行します (Microsoft デジタル署名はありませんが、正常に動作します)。

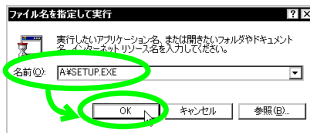


- (10) 「完了」ボタンをクリックします。

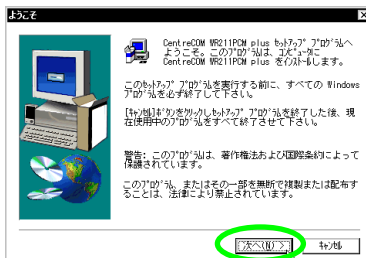


4.1.3 ユーティリティプログラムのインストール

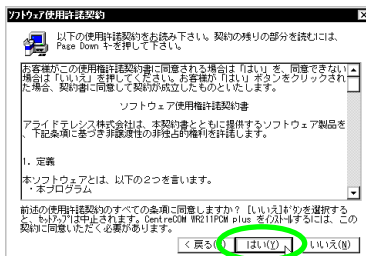
- (1) タスクバーの「スタート」ボタンをクリックし、メニューから、「ファイル名を指定して実行」を選択します。
- (2) セットアップユーティリティディスクの 1 枚目をフロッピーディスクドライブに挿入し、「名前」に「A:\SETUP.EXE」と入力し、「OK」ボタンをクリックします (ここではフロッピーディスクドライブを「A:」, AT 互換機を仮定します)。



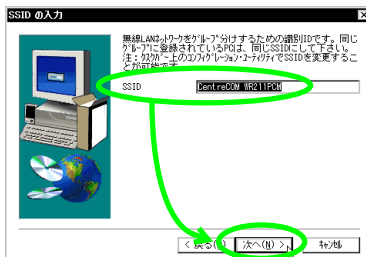
- (3) セットアッププログラムを実行する前にほかのプログラムを終了し、「次へ」ボタンをクリックします。



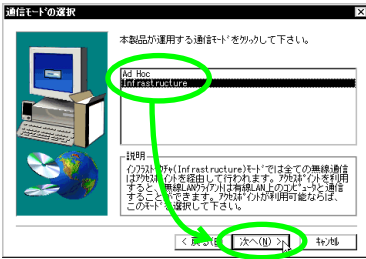
- (4) 「ソフトウェア使用許諾契約」の内容を確認し、「はい」ボタンをクリックします。



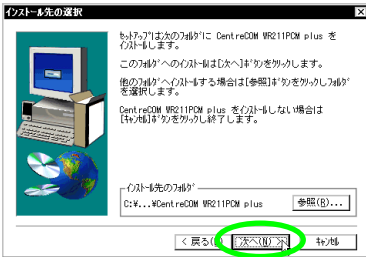
- (5) 「SSID」を設定し、「次へ」ボタンをクリックします。アクセスポイントを使用して通信を行う場合は、アクセスポイントと同じ SSID を設定してください。また、SSID は、セキュリティ確保のためにも、独自の SSID を設定してください。



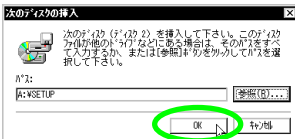
- (6) 「通信モード」を設定し、「次へ」ボタンをクリックします。アクセスポイントを使用して通信を行う場合は、「Infrastructure」を、無線 LAN カード同士で通信を行う場合は、「AdHoc」に設定します。



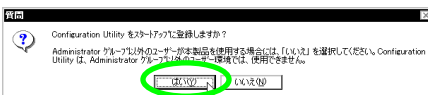
- (7) ユーティリティプログラムのインストール先を指定します。表示されているインストール先を変更したい場合は、「参照」ボタンをクリックし、変更先を指定します。インストール先が決まったら、「次へ」ボタンをクリックします。



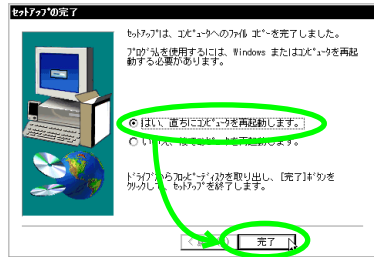
- (8) ファイルのコピーが始まります。次のダイアログが表示されたら、フロッピーディスクをセットアップユーティリティディスクの2枚目に交換し、「OK」ボタンをクリックします。



- (9) 「Configuration Utility をスタートアップに登録しますか?」と聞かれたら、通常は、「はい」をクリックします。「Configuration Utility」は、Administrators グループのユーザーだけが使用することができます。Administrators グループ以外のユーザーも本製品を使用する場合は、「いいえ」を選択します。



- (10) ユーティリティプログラムを使用するには、コンピュータを再起動する必要があります。「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」をクリックし、フロッピーディスクドライブからディスクを取り出し、「完了」ボタンをクリックします。



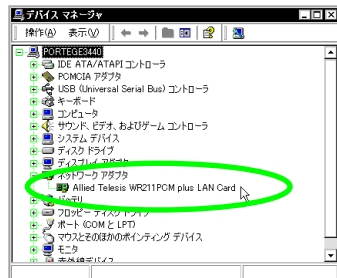
- (11) コンピュータが再起動すると、タスクバーに無線アイコンが表示されます。

4.1.4 インストールの確認とネットワークおよび本製品の設定

本製品のインストールが正常に行われていることを確認し、さらに必要な設定を行います。

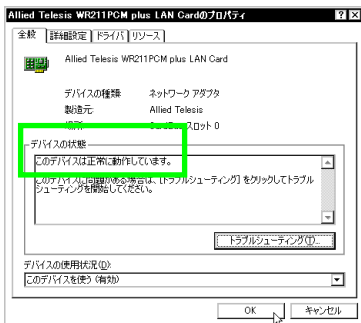
デバイスマネージャによるインストールの確認

- (1) タスクバーの「スタート」ボタンをクリックし、メニューから、「設定」「コントロールパネル」を選択します。「コントロールパネル」の「システム」アイコンをダブルクリックします。
- (2) 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。
- (3) 「ネットワークアダプタ」の下に「Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card」が表示されていることを確認します。



本製品のアイコンに「?」「!」などのマークが付いていた
り、あるいはアイコンが「ネットワークアダプタ」の下では
なく、「不明なデバイス」や「その他のデバイス」の下にあ
る場合は、インストールに失敗しています。詳しくは、「4.4
トラブルシューティング」(p.40)をご覧ください。

- (4) 「Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card」をダブルク
リックします。
- (5) 「全般」タブで、「このデバイスは正常に動作しています。」
と表示されているのを確認します。



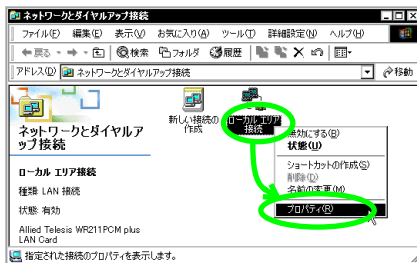
- (6) 本製品が使用する I/O ベースアドレス、インタラプト (IRQ)
などは、Windows 2000 によって自動的に設定されます。
「リソース」タブを表示すると、これらを確認することがで
きます。



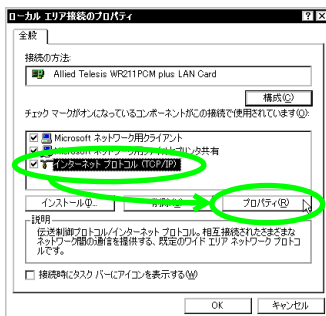
ネットワークの設定

本製品のインストールが完了したら、本製品を取り付けたコンピュ
ータのネットワーク環境の設定を行います。ここでは、インターネッ
トの参照に必要な TCP/IP の設定について説明します。

- (1) タスクバーの「スタート」ボタンをクリックし、メニューから、「設定」 「ネットワークとダイヤルアップ接続」を選
択します。「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパ
ティ」を選択します。



- (2) 「インターネット プロトコル (TCP/IP)」を選択し、「プロパティ」
をクリックして設定を行います。



コンピュータのネットワーク設定 に関する詳しい説明については
「2.2.2 コンピュータの「ネットワーク」設定」(p.17)を参照して
ください。

本製品の設定

本製品の設定は、ユーティリティプログラムを使用して変更します。

- (1) タスクバーに表示されている、無線アイコンをクリックしま
す。
タスクバーに無線アイコンが表示されていない場合は、「ス
タート」ボタンをクリックし、メニューから、「プログラム」
「CentreCOM WR211PCM plus」 「Configuration
Utility」を選択すると、無線アイコンが表示されます。
- (2) 「設定」タブをクリックし、本製品の設定を行います。

本製品の設定は、「2.2.1 本製品の設定」(p.14)を参照し、「
アクセスポイントを使用してネットワーク接続する場合」または
「本製品を取り付けたコンピュータ同士をネットワーク接続す
る場合」の設定を行ってください。

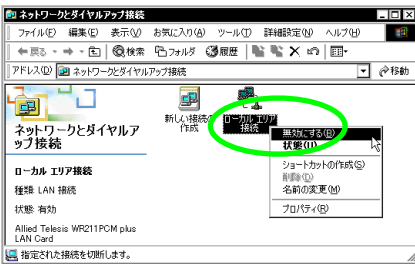
4.1.5 本製品を一時的に使用しないとき

本製品を PC カードスロットに付けたまま、一時的に使用を中止するときには、デバイスを無効に設定します。使用を再開したい場合には、有効に設定します。



次の手順を実行するには、「Administrator」または Administrators グループのユーザー名でログオンしてなければなりません。

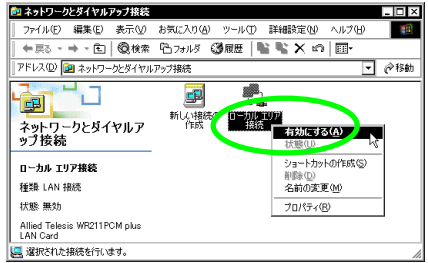
- (1) タスクバーの「スタート」ボタンをクリックし、メニューから、「設定」「ネットワークとダイヤルアップ接続」を選択します。
- (2) 「ローカルエリア接続」を右クリックし、「無効にする」を選択します。



- (3) 「ローカルエリア接続」がグレーで表示され、無効であることを示します。



- (4) 再度有効にするには、「ローカルエリア接続」を右クリックし、「有効にする」を選択します。



4.2 ホットスワップに関するご注意

Windows 2000 はホットスワップ（活線挿抜）をサポートしていますので、コンピュータの電源をオンにした状態で本製品を PC カードスロットに挿入したり、取り外したりすることができます。

4.2.1 PC カードの挿入

- (1) 「WR211PCM plus」の文字が印刷された面を上にして、本製品をコンピュータの PC カードスロットに挿入し、カチッと手応えがあるまで押し込んでください。



コンピュータ機種によっては、下に向けて装着する恐れがあります。間違えて装着した場合、本製品やご使用のコンピュータの故障の原因となります。PC カード装着に関しては、必ずご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

- (2) 本製品を PC カードスロットに挿入すると、Windows 2000 は Plug & Play 機能により本製品を検出します。

4.2.2 PC カードの取り外し

コンピュータの電源がオンの状態で本製品を取り外す場合は、必ず次の手順で行ってください。

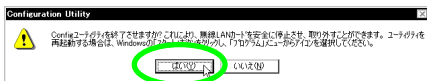


以下の手順を守らなかった場合、コンピュータのハングアップや、Windows 2000 ファイルの破壊を招く恐れがあります。また、以下の手順をお守りいただかないで起こった障害に関してはユーザーサポートの対象外とさせていただきます。

- (1) ネットワークと通信を行っているアプリケーション、例えば Internet Explorer、Netscape Navigator、Telnet やデータベースアプリケーションなどをすべて終了してください。「ネットワークドライブの割り当て」を行っている場合は、すべて切断してください。
- (2) タスクバーの無線アイコン（通常デスクトップ右下）を右クリックします。（ここでは、「Infrastructure」モードで、アクセスポイントとの通信状態良好のアイコンを例とします。）



- (3) 「Config ユティリティを終了させますか？」と聞かれますので、「はい」ボタンをクリックし、ユーティティープログラムを終了します。



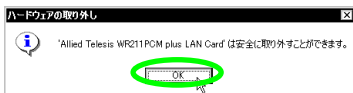
- (4) タスクバーの「取り外し」アイコン（通常 デスクトップ右下）をクリックします。



- (5) 「Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card を停止します」が表示されたら、バーをクリックします。



- (6) 「安全に取り外すことができます。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。



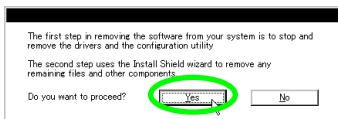
4.3 アンインストール

本製品をシステムから削除するには、「Uninstaller」を実行します。「Uninstaller」を実行すると、本製品のドライバーとユーティティープログラムの両方が削除されます。

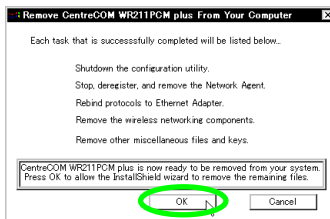


注意 次の手順を実行するには、「Administrator」または Administrators グループのユーザー名でログオンしていなければなりません。

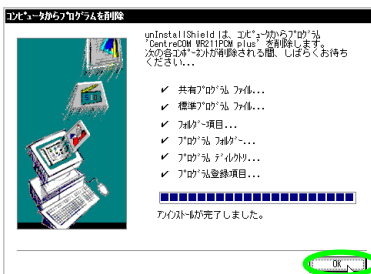
- (1) タスクバーの「スタート」ボタンをクリックし、メニューから、「CentreCOM WR211PCM plus」「Uninstaller」を選択します。
- (2) アンインストール作業の確認ダイアログボックスが表示されたら、「Yes」ボタンをクリックします。



- (3) 「Remove CentreCOM WR211PCM plus From Your Computer」ダイアログボックスが表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。



- (4) 「アンインストールが完了しました。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。



4.4 トラブルシューティング

ここでは、ドライバーのインストールに伴うトラブルの代表的な例と、その対処法について説明します。



注意 以下の手順は、本製品をPCカードスロットに取り付けた状態で行ってください。

4.4.1 無線アイコンが表示されない

エラーが発生し、「Configuration Utility」が起動できない場合は無線アイコンが表示されません。「Configuration Utility」は、Administrators グループ以外のユーザーは使用することができません。「Administrator」または Administrators グループのユーザー名でログインし直してください。

4.4.2 その他

その他のトラブルにつきましては、「2.5 トラブルシューティング」(p.22)を参照してください。

5 Windows 95

5.1 インストール

本製品をシステムにインストールする手順について説明します。インストールは、次の2段階の手順で実行してください。

- 1 本製品をコンピュータに取り付け、ドライバーをインストールする
- 2 ユティリティプログラムをインストールする



注意

以下にあげる手順は一例です。お客様の環境によっては、手順などが若干異なることがあります。また、ここでは Version B (OSR2) 以降での手順を例に説明します。Version B (OSR2) より前のバージョンをご使用の場合は、手順が異なる場合があります。手順が異なる場合には、それぞれに分けて記述します。

5.1.1 インストールを始める前に

OSのバージョンを確認してください

Windows 95 には、いくつかのバージョンが存在します。初めに、ご使用の Windows 95 のバージョンを確認してください。バージョンを確認するには、タスクバーの「スタート」ボタンをクリックし、「設定」「コントロールパネル」「システム」「情報」を選択し、「システム」の表示を確認します。



用意するもの

- WR211PCM plus カード本体
- コンピュータ (Windows 95 インストール済み)
- 「セットアップユティリティディスク」2枚
- Windows 95 の CD-ROM



注意

本製品を Windows 95 の Version B より前のバージョンでご使用になる場合は、Microsoft から提供されているアップデイトモジュールが必要になる場合があります。Microsoft のホームページから「ダイヤルアップネットワーク 1.3 アップグレード」をダウンロードし、ご使用のコンピュータに本製品を取り付ける前にインストールしてください。



注意

Windows 95 が、コンピュータ購入時にあらかじめインストールされた形態で提供されたもの、すなわちプリインストール版である場合は、Windows 95 のバックアップ CD-ROM が付属しているかどうかをご確認ください。バックアップ CD-ROM が付属していない場合は、安全のため必ずフロッピーディスク等に Windows 95 のバックアップを取った後でドライバーのインストールを開始してください。バックアップの手順については、ご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。コンピュータメーカーにご確認ください。



注意

ハードディスク内のデータは、必ずフロッピーディスク等にバックアップをとった後で、ドライバーのインストールを開始してください。特に重要なデータについては、必ずバックアップをとれることをお勧めします。また、いかなる場合でも、データが消失または破損したことによる損害については、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

次に説明する手順の中では、「SSID」はデフォルトのまま、「通信モード」は「Infrastructure」モードでインストールするものとして説明します。

5.1.2 本製品のコンピュータへの取り付け

Windows 95 で本製品を使用する場合、Version B (OSR2) 以降と Version B (OSR2) より前のバージョンでは、ドライバーのインストール手順が異なります。次の手順の説明で、ご使用のバージョンにあった説明を参照して、インストールを行ってください。

- Version 950、950a の場合 「 B より前のバージョンをご使用の場合」に進む
- Version B、C の場合 「バージョン B 以降をご使用の場合」に進む



注意

本製品に触れる前に、あらかじめ他の金属部分（水道の蛇口、ドアノブ等）に触れて体内の静電気を放電してください。この時、ガス管など発火する危険性のあるものには、絶対に触れないようにしてください。

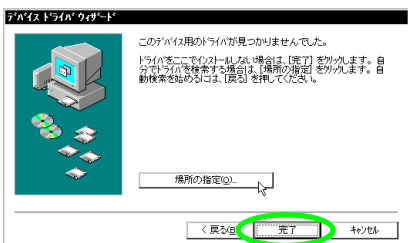
バージョン B 以降をご使用の場合

- (1) コンピュータの電源をオンにし、Windows 95 を起動してください。
- (2) コンピュータの PC カードスロットに本製品を挿入してください。

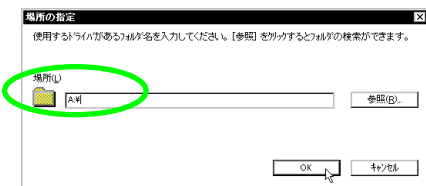
- (3) Windows 95 は本製品がPCカードスロットに挿入されたことを自動的に検出し、「デバイスドライバウィザード」を起動します。「次へ」ボタンをクリックします。



- (4) 「セットアップユーティリティディスク 1of2」をフロッピーディスクドライブに挿入し、「場所の指定」をクリックします。



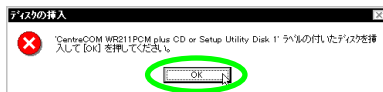
- (5) 「場所の指定」ダイアログが表示されたら、「場所」に「A:¥」と入力し、「OK」ボタンをクリックします（ここではフロッピーディスクドライブを「A:」、AT 互換機を仮定します）。



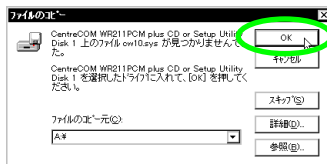
- (6) 「このデバイス用の更新されたドライバが見つかりました。」と表示されたら、「完了」ボタンをクリックします。



- (7) 「CentreCOM WR211PCM plusのセットアップユーティリティディスクを挿入してください。」と表示されたら、「セットアップユーティリティディスク 1of2」がフロッピーディスクドライブに挿入されていることを確認し、「OK」ボタンをクリックします。



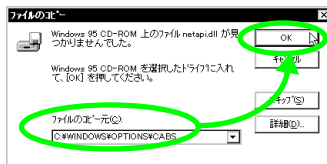
また、「cw10.sys」が見つかりませんでした。」と表示されたら、「ファイルのコピー元」に、「セットアップユーティリティディスク 1of2」が挿入されているドライブ名を入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。



また、次のようなダイアログが表示され、Windows 95 のCD-ROM を要求された場合は、「OK」ボタンをクリックします。

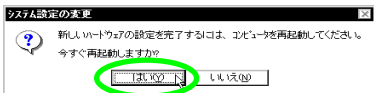


次のダイアログが表示された場合は、「ファイルのコピー元」に「C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」を入力してください。ここでは Windows 95 がプリインストール版である場合を仮定します（ハードディスクドライブを「C:」、AT 互換機を仮定します）。



ご使用のコンピュータがプリインストール版でない場合は、「ファイルのコピー元」として「D:\WIN95」を入力してください（ここではCD-ROM ドライブを「D:」、AT 互換機を仮定します）。

- (8) フロッピーディスクドライブからディスクを抜き、「はい」ボタンをクリックし、コンピュータを再起動します。



また、次のようなダイアログが表示され、Windows 95のCD-ROMを要求された場合は、「OK」ボタンをクリックします。

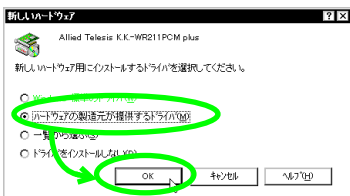


B より前のバージョンをご使用の場合

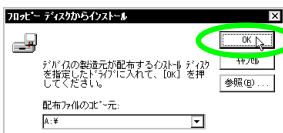


注意 本製品を Windows 95 の Version B より前のバージョンで使用になる場合は、Microsoft から提供されているアップデートモジュールが必要になる場合があります。Microsoft のホームページから「ダイヤルアップネットワーク 1.3 アップグレード」をダウンロードし、ご使用のコンピュータに本製品を取り付ける前にインストールしてください。

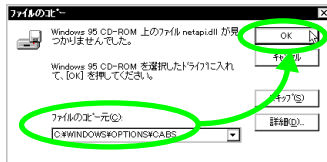
- (1) コンピュータの電源をオンにし、Windows 95 を起動してください。
- (2) コンピュータのPCカードスロットに本製品を挿入してください。
- (3) Windows 95 は本製品がPCカードスロットに挿入されたことを自動的に検出し、「新しいハードウェア」ウィザードを起動します。「ハードウェアの製造元が提供するドライバ」をクリックし、「OK」ボタンをクリックします。



- (4) 「セットアップユーティリティディスク 1of2」をフロッピーディスクドライブに挿入し、「配布ファイルのコピー元」に「A:¥」と入力し「OK」ボタンをクリックします（ここではフロッピーディスクドライブを「A:」AT 互換機を仮定します）。

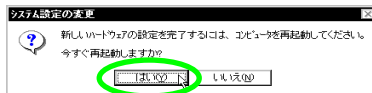


次のダイアログが表示された場合は、「ファイルのコピー元」に「C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」を入力してください。ここでは Windows 95 がプリインストール版である場合を仮定します（ハードディスクドライブを「C:」AT 互換機を仮定します）。



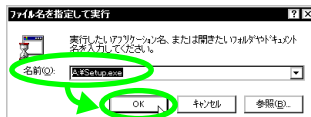
注意 ご使用のコンピュータがプリインストール版でない場合は、「ファイルのコピー元」として「D:¥WIN95」を入力してください（ここではCD-ROM ドライブを「D:」AT 互換機を仮定します）。

- (5) フロッピーディスクドライブからディスクを抜き、「はい」ボタンをクリックし、コンピュータを再起動します。

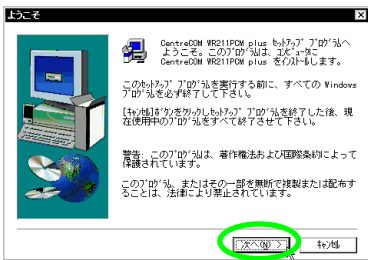


5.1.3 ユーティリティープログラムのインストール

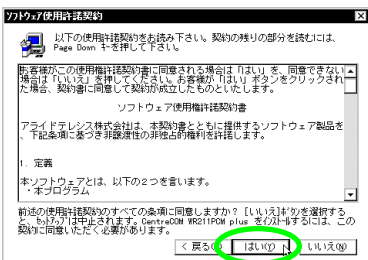
- (1) 「スタート」メニューから「ファイル名を指定して実行」を選択します。
- (2) 「セットアップユーティリティディスク 1of2」をフロッピーディスクドライブに挿入し、「名前」に「A:¥Setup.exe」と入力し、「OK」ボタンをクリックします（ここではフロッピーディスクドライブを「A:」AT 互換機を仮定します）。



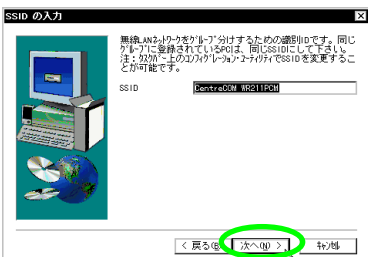
- (3) 「Setup」プログラムを実行する前に、他のプログラムを終了し、「次へ>」ボタンをクリックします。



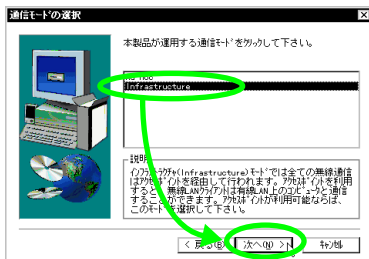
- (4) 「ソフトウェア使用権許契約書」の内容を確認し、「はい」ボタンをクリックします。



- (5) 「SSID」を設定し、「次へ」ボタンをクリックします。アクセスポイントを使用して通信を行う場合は、アクセスポイントと同じSSIDを設定してください。また、SSIDは、セキュリティ確保のためにデフォルトの設定を変更して、独自のSSIDを設定してください。デフォルトは、「CentreCOM WR211PCM」です。



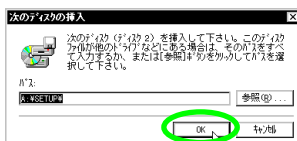
- (6) 「通信モード」を設定し、「次へ」ボタンをクリックします。アクセスポイントを使用して通信を行う場合は、「Infrastructure」を、無線 LAN カード同士で通信を行う場合は、「Ad Hoc」に設定します。



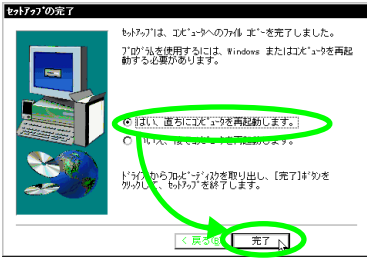
- (7) ユティリティプログラムのインストール先を指定します。表示されているインストール先を変更したい場合は、「参照...」ボタンをクリックし、変更先を指定します。インストール先が決まったら、「次へ>」ボタンをクリックします。



- (8) ファイルのコピーが始まります。次のダイアログが表示されたら、フロッピーディスクを「セットアップユーティリティディスク 2of2」に交換し、「OK」ボタンをクリックします。



- (9) ユティリティプログラムを使用する前に、コンピュータを再起動する必要があります。「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選択し、フロッピーディスクドライブからディスクを抜き、「完了」ボタンをクリックしてコンピュータを再起動します。

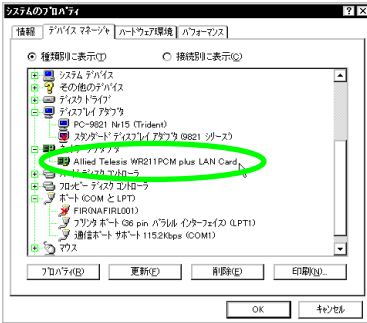


5.1.4 インストールの確認とネットワークおよび本製品の設定

本製品のインストールが正常に行われていることを確認し、さらに、必要な設定を行います。

デバイスマネージャによるインストールの確認

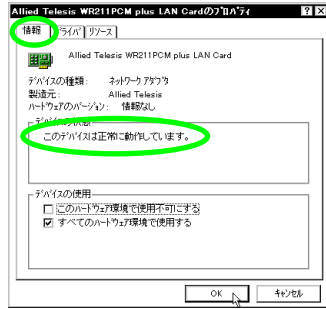
- (1) タスクバーの「スタート」ボタンをクリックし、メニューから、「設定」、「コントロールパネル」を選択します。「コントロールパネル」の「システム」アイコンをダブルクリックします。
- (2) 「デバイスマネージャ」タブをクリックします。インストールが正常に行われていれば、「ネットワークアダプタ」の下に「Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card」が表示されます。



本製品のアイコンに「x」「?」「!」などのマークが付いたり、あるいはアイコンが「ネットワークアダプタ」の下ではなく、「不明なデバイス」や「その他のデバイス」の下にある場合は、インストールに失敗しています。詳しくは、「5.4 トラブルシューティング」(p.48)をご覧ください。

- (3) 「Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card」を選択(反転表示)し、「プロパティ」ボタンをクリックします。「情報」

タブで「デバイスの状態」欄に「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることをご確認ください。

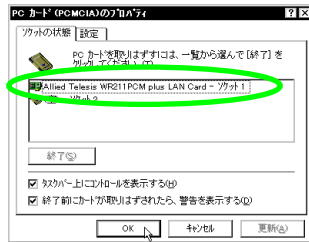


- (4) 本製品が使用する I/O の範囲 (I/O アドレス) 割り込み要求 (IRQ) などは、Windows 95 によって自動的に設定されます。「リソース」タブを選択すると、これらを確認することができます。



PC カード (PCMCIA) による確認

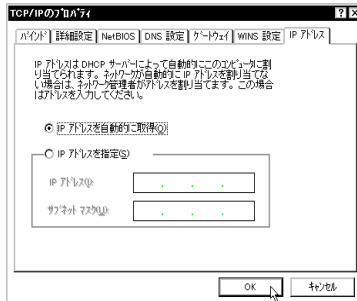
「コントロールパネル」の「PC カード (PCMCIA)」アイコンをダブルクリックします。「ソケットの状態」タブを選択し、該当するソケットに「Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card」が表示されていることを確認します。



ネットワークの設定

本製品のインストールが完了したら、本製品を取り付けたコンピュータのネットワーク環境の設定を行います。ここでは、インターネットの参照に必要な TCP/IP の設定について説明します。

- (1) 「スタート」「設定」「コントロールパネル」を選択します。
- (2) 「ネットワーク」アイコンをダブルクリックします。
- (3) 「ネットワーク設定」タブの「現在のネットワーク構成」に、「TCP/IP」が表示されていることを確認します。



コンピュータのネットワーク設定に関する詳しい説明については、「2.2.2 コンピュータの「ネットワーク」設定」(p.17)を参照してください。

本製品の設定

本製品の設定は、ユーティリティプログラムを使用して変更しします。

- (4) 「TCP/IP」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします。



- (1) タスクバーに表示されている無線アイコンをクリックします。
タスクバーに無線アイコンが表示されていない場合は、「スタート」ボタンをクリックし、メニューから、「プログラム」「CentreCOM WR211PCM plus」「Configuration Utility」を選択すると、無線アイコンが表示されます。

- (2) 「設定」タブをクリックし、本製品の設定を行います。

本製品の設定は、「2.2.1 本製品の設定」(p.14)を参照し、「アクセスポイントを使用してネットワーク接続する場合」または「本製品を取り付けたコンピュータ同士をネットワーク接続する場合」の設定を行ってください。

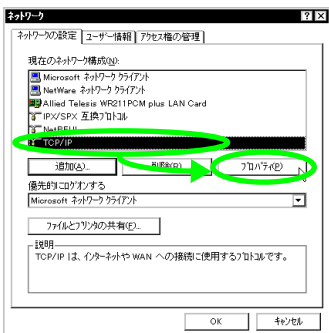
5.2 本製品の取り外しの注意



注意

本製品に触れる前に、あらかじめ他の金属部分（水道の蛇口、ドアノブ等）に触れて体内の静電気を放電してください。この時、ガス管など発火する危険性のあるものには、絶対に触れないようにしてください。
本製品の内部には、最新の IC 類が使用されています。ご使用中の静電気による故障対策はされていますが、他の機器との接続時などには、特に注意して下さい。お客様の不注意により生じた静電気等による故障等につきましては、保証の対象外となりますのであらかじめご了承ください。

- (5) パラメータを設定します。



Windows 95 はホットスワップ（活線挿抜）をサポートしているので、コンピュータの電源をオンにした状態で本製品を PC カードスロットから取り外すことができます。ただし、コンピュータの電源がオンの状態で本製品を取り外す場合は、必ず以下の手順で行ってください。

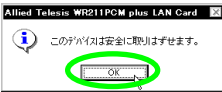


以下の手順を守らなかった場合、コンピュータのハングアップや、Windows 95 ファイルの破壊を招く恐れがあります。また、以下の手順をお守りいただかないで起こった障害に関してはユーザーサポートの対象外とさせていただきます。

- (1) ネットワークと通信を行っているアプリケーション、例えば Internet Explorer、Netscape Navigator、Telnet やデータベースアプリケーションなどをすべて終了してください。「ネットワークドライブの割り当て」を行っている場合は、すべて切断してください。
- (2) タスクバーの PC カードアイコン（通常デスクトップ右下）をクリックし、「Allied Telesis WR211PCM plus LAN Card を停止します」が表示されたら、バーをクリックします。



- (3) 「安全に取り外すことができます。」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックします。



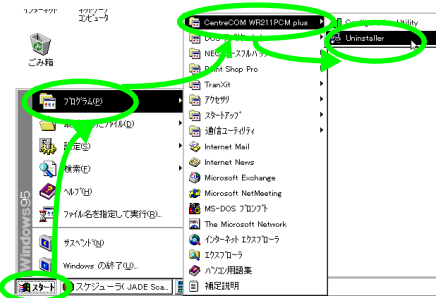
- (4) コンピュータの PC カード取り外しボタンを押してください。本製品は、PC カードスロットから外れ、手で取り出せる状態になります。

5.3 アンインストール

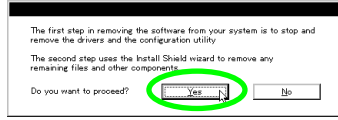
本製品をシステムから削除するには、「Uninstaller」を実行します。「Uninstaller」を実行すると、本製品のドライバーとユーティリティプログラムの両方が削除されます。

「Uninstaller」を実行する

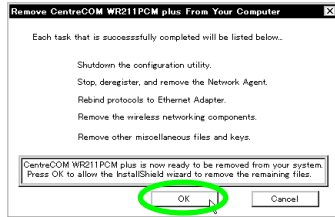
- (1) 「スタート」メニューから「プログラム」「CentreCOM WR211PCM plus」「Uninstaller」を選択します。



- (2) 次のダイアログが表示されたら、「Yes」ボタンをクリックします。

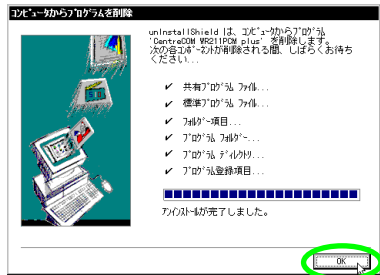


- (3) 「OK」ボタンをクリックします。



また、この後に、「ファイル削除の確認」のダイアログが表示された場合は、「はい」ボタンをクリックします。

- (4) 「OK」ボタンをクリックします。Uninstaller プログラムは終了します。



本製品の取り外しの確認をする



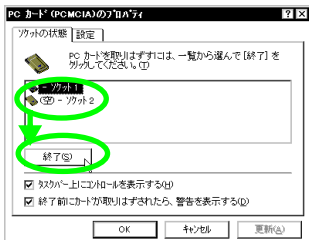
本製品に触れる前に、あらかじめ他の金属部分（水道の蛇口、ドアノブ等）に触れて体内の静電気を放電してください。この時、ガス管など発火する危険性のあるものには、絶対に触れないようにしてください。

- (1) タスクバーにPCカードアイコンが表示されているかどうかを確認します。PC カードアイコンが表示されていない場合は、手順 (6) に進みます。

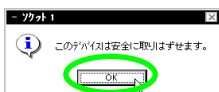
- (2) タスクバーに PC カードアイコンが表示されていた場合は、アイコンをダブルクリックします。



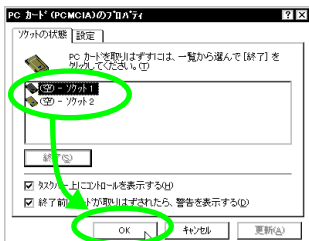
- (3) 本製品が挿入されているソケットを選択し、「終了」ボタンをクリックします。



- (4) 「OK」ボタンをクリックします。



- (5) 本製品が挿入されているソケットが「空」と表示されていることを確認し、「OK」ボタンをクリックします。



- (6) コンピュータの PC カード取り外しボタンを押してください。本製品は、PC カードスロットから外れ、手で取り出せる状態になります。

5.4 トラブルシューティング

トラブルの対処法につきましては、「2.5 トラブルシューティング」(p.22)を参照してください。

A 付録

A.1 製品仕様

製品本体仕様

無線部	
規格	国際規格 IEEE 802.11、802.11b 国内規格 RCR STD-33、 ARIB STD-T66
周波数帯域	2.4GHz
変復調方式	DS-SS 方式
情報変調方式	CCK、DQPSK、DBPSK
アクセス制御方式	CSMA/CA
データ転送速度	11/5.5/2/1 Mbps 自動切り替え
サービスエリア	屋外 150m、屋内 50m (11Mbps 通信 時は、屋外 60m、屋内 30m)
スクランブル処理	WEP (RC4)
空中線電力	2mW/MHz
アンテナ形式	誘電体アンテナとスロットアンテナ
アンテナダイバーシティー	空間ダイバーシティー
電源部	
定格入力電圧	DC +5V
最大消費電力	2.0W
平均消費電流	送信時 320mA (最大 410mA) 受信時 240mA (最大 320mA)
発熱量	1.37kcal/h (最大 1.76kcal/h)
環境条件	
動作時温度	0 ~ 55
動作時湿度	80% 以下 (ただし結露なきこと)
保管時温度	-10 ~ 60
保管時湿度	80% 以下 (ただし結露なきこと)
外形寸法	
	54.0(W) × 121.7(L) × 5.0(T) (アンテナ部の高さ 8.4)mm PCCard TYPEII Extended
重量	
	約 50g
取得承認	
EMI 規格	VCCI クラス B

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

外部アンテナ (WR211ANT-01) 仕様

空中線型式	ホイップ型空中線
周波数	2400 ~ 2500MHz
入力インピーダンス	50
利得	絶対利得 4.0dB (ケーブル損失を含まず)
最大入力電力	2W
接続	専用
全長	191mm ± 4mm (ケーブル含まず)
ケーブル長	2m
重量	約 30g (同軸ケーブルを含む)

A.2 MAC アドレス

イーサネットに接続される機器は、MACアドレスと呼ばれるアドレスを使って通信を行います。MACアドレスは機器 (アダプター) のひとつひとつに割り当てられた唯一無二の (unique、ユニークな) アドレスです。

MACアドレスは、下記の 6 バイト (48ビット) によって構成されており、本製品の内部に書き込まれているため、ユーザーが変更することはできません。本製品の MAC アドレスは、製品に貼付されている MAC アドレスラベルに記載されています (表記は全て 16 進数)。

00 _____ 90 _____ 99 _____ xx _____ xx _____ xx
ベンダーID 通し番号

- ベンダー ID
LAN ベンダー (LAN 用機器を製造しているメーカー) が IEEE に申請することにより得られる識別番号です。
- 通し番号
この番号は、当社が製品を識別するために割り当てたもので、本製品は、「43 20 00」から始まる 6 桁の数値となっています。この通し番号と本製品の「シリアル番号ラベル」の番号に関連はありません。



MAC アドレス (マックアドレスと読みます) は、物理アドレス、ネットワークアドレス、イーサネットアドレスなどと呼ばれることもあります。また、MAC アドレスは、TCP/IP の環境で使用される IP アドレスに関係がありますが、これらは別々のものです。

B 用語集

B.1 本製品に関する用語

AdHoc

「AdHoc」モードは、本製品を取り付けたコンピュータ同士でネットワークを構成する場合に使用します。コンピュータ同士は、ピアツーピアで接続され、お互いのリソースを共有することができます。

Infrastructure

「Infrastructure」モードは、アクセスポイントを使用し、有線ネットワークと無線ネットワークを統合して 1 つのネットワークとして構成する場合に使用します。

SSID

「SSID」(Service Set Identifier) は無線 LAN ネットワークを構成するコンピュータ同士を識別する名前です。同じネットワークに属するコンピュータまたはアクセスポイントは、同じ SSID を設定しなければなりません。「SSID」は、半角英数字 32 文字以内(大文字、小文字も区別される)で設定します。(「SSID」の設定は、「Infrastructure」モードの場合に有効です。)

通信方式

デフォルトでは、IEEE802.11 の周波数変換方式の RFC1042 モードが設定されています。古い無線 LAN のシステムと接続する場合は、ドロップダウンリストから他の通信方式を選択します。

送信速度

送信速度は、無線 LAN ネットワークを構成するネットワーク機器が対応している速度から選択することができます。帯域を有効に利用し、最適な速度で通信を実行するには、「Fully Automatic (送信速度自動設定)」に設定しておきます。「Fully Automatic」に設定すると、送信速度はネットワークを構成するネットワーク機器に合わせて自動的に調整され、最適な速度で通信できるようになります。

暗号

本製品は、無線ネットワーク上で交換されるデータを保護するために、暗号を使用することができます。WEP (Wired Equivalent Privacy) という暗号化方式を使用しています。WEP では、40 ビットの組み合わせからなるキーを使用し、ネットワークへのアクセスをコントロールします。また、データの送信ごとに暗号化することによって、データの安全性を確保します。送信されたデータを解読するには、無線ネットワーク上のコンピュータにも、同じキーを設定しておかなければなりません。

チャンネル

無線 LAN 通信で使用される、IEEE802.11 のデフォルトのチャンネルを設定します。

ローミング機能

複数のアクセスポイントがある場合、電波状態により、接続するアクセスポイントを自動的に切り替える機能です。アクセスポイント間を移動しても、再接続などの必要はありません。

B.2 ネットワーク関連の用語

ピアツーピア接続

コンピュータ同士が、1 対 1 で対等に行う通信です。サーバーとクライアントのように機能を分化せず、お互いの機能を利用して通信を行い、ファイルやプリンタなどの資源を共有することができます。

Microsoft ネットワーククライアント

Windows 98/95 などのサーバーサービスを利用するためのクライアントソフトウェアです。通常、プロトコルには、「NetBEUI」が使用されます。

NetBEUI プロトコル

小規模のネットワークトランスポートプロトコルです。NetBEUI は、OSI 参照モデルのトランスポート層およびネットワーク層プロトコルに相当します。これを、NetBIOS と統合することにより、ワークグループ LAN 環境で効率的な通信システムが実現されます。Windows 98/95 でサポートされています。

TCP/IP プロトコル

インターネットで使用されているプロトコルで、OSI 参照モデルのトランスポート層およびネットワーク層プロトコルに相当します。TCP/IP プロトコルを使用すると、異なるプラットフォームのコンピュータ同士でも通信することができます。

無線 LAN

配線を必要としない LAN (Local Area Network) のことです。1 つの建物内や敷地内など、比較的狭い範囲で、電波や赤外線、レーザーを使用してネットワークを構築します。

アクセスポイント

無線 LAN から有線 LAN のネットワーク上のコンピュータに通信するための装置です。

C 保証

本製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」をお読みになり、「お客様インフォメーション登録カード」に必要事項を記入して、当社「お客様インフォメーション登録係」までご返送ください。「お客様インフォメーション登録カード」が返送されていない場合、障害発生時のユーザーサポートや修理などを受けられません。

保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害（人の生命・身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない）については、弊社はその責をいっさい負わないこととします。

D ユーザーサポート

障害回避などの技術的なサポートを受ける場合は、巻末の「調査依頼書」をプリントアウトしたものに必要事項を記入し、下記にファクスしてください。できるだけ電話による直接の問い合わせは避けてください。ファクスによって詳細な情報を送付していただく方が、電話による問い合わせよりもより早く問題を解決することができます。記入内容の詳細については「D.1 調査依頼書のご記入にあたって」をご覧ください。なお、都合によりご連絡が遅れることもございますので、予めご了承ください。

サポート連絡先

アライドテレシス株式会社 サポートセンター

Tel: ☎ 0120-860-772

月～金（祝・祭日を除く）9:00-12:00 13:00-18:00
土（祝・祭日を除く）10:00-17:00

Fax: ☎ 0120-860-662

年中無休 24 時間受け付け

D.1 調査依頼書のご記入にあたって

調査依頼書は、お客様のご使用環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。障害を解決するためにも以下の点にそって、十分な情報をお知らせください。記入用紙で書き切れない場合には、別途プリントアウトなどを添付してください。

ハードウェアとソフトウェア

1. ご使用製品のシリアル番号、製品リビジョン
本製品に貼られたシリアル番号シールのシリアル番号（S/N）、製品リビジョンコード（Rev.）を調査依頼書に記入してください。

（例）



2. ご使用の当社のソフトウェア
当社製ソフトウェアをご使用になっている場合は、そのソフトウェアの種類、バージョン（Ver.）、シリアル番号（S/N）

を記入してください。それらは、フロッピーディスクのラベル上に記入されています。

3. ご使用のコンピュータの機種
ご使用になっているコンピュータのメーカー名、機種名をご記入ください。
4. ご使用の周辺機器
CD-ROM ドライブ、サウンドボード、SCSI ボードなどの他社製拡張アダプターや、メモリマネージャなどのユーティリティをご使用の場合はそれら全てについてご記入ください。
5. ご使用のサーバー、UNIX システムの機種、OS など
接続しているサーバーの機種とその環境を可能な限りご記入ください。（例えば、NetWare 4.11J、WindowsNT Version 4.0 Server、FreeBSD 2.2.5 など）

お問い合わせ内容

- どのような症状が発生するのか、それはどのような状況で発生するのかをできる限り具体的に（再現できるように）記入してください。
- 障害などが発生する場合には、本製品と併用されているユーティリティや、アプリケーションの処理内容もご記入ください。
- AUTOEXEC.BAT、CONFIG.SYS、バッチファイルに関しては、そのファイル内容のプリントアウトを必ず添付してください。
- エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージの内容のプリントアウトなどを添付してください。
- Windows95/98/2000/Me の場合、お手数ですが、可能な限りシステムレポート（OS が自動生成するシステムに関するレポート、名称はOS によって異なります）を出力し、添付いただきますようお願いいたします。

接続の構成図

- ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。

D.2 システムレポートの出力方法

システムレポートは、Windows95/98/2000/Me が自動生成するシステムに関するレポート（名称はOS によって異なります）で、以下の手順で印刷することができます。

- (1) コントロールパネルから「システム」を起動し、「デバイスマネージャ」タブを表示します。
- (2) 「印刷 (N)...」ボタンをクリックします。

- (3) 「レポートの種類」では「すべてのデバイスとシステムの概要(A)」を選択してください。以後、画面の指示にしたがってください。

```
システムレポート - ページ : 1
----- システムの概要 -----

Windows のバージョン : 4.00.950
コンピュータ名 : 不明
CPUの種類 : Pentium
システムの種類 : ISA
BIOS名 : Phoenix
BIOSの日付 : 01/08/97
BIOSのバージョン : Phoenix NoteBIOS Version 4.05
コンピュータの種類 : IBM PC/AT
数値ジョystick : Not Present
登録番号 : X X X X X X
登録会社 : X X X X X X

----- IRQの概要 -----

IRQの使用 :
00 - システムタイマー
01 - 106 日本語 (A01) キーボード (Ctrl+英数)
02 - プリンター可能割り込みコントローラ
03 - 通信ポート (COM2)
04 - 通信ポート (COM1)
05 - ES1878 Plug and Play AutoDrive
06 - ステータスポート (LPT1)
07 - プリンター (LPT1)
08 - システム CMOS/77# 94# カロック
10 - Texas Instruments PCI-1130 CardBus Controller
10 - PCI ステータスポート IRQ 割り当て
```

図 D.2.0.1 システムレポートの出力例 (Windows95 の場合)

D.3 最新ドライバーソフトウェアの入手方法

当社は、改良などのために予告なく、本製品のドライバーのバージョンアップやパッチレベルアップを行うことがあります。最新のドライバーソフトウェアは、次の2つの方法で入手することができます。

ホームページからの入手

- (1) Microsoft Internet Explorer、Netscape Navigator などの Web ブラウザを使用して、アライドテレシスのホームページ「<http://www.allied-teleasis.co.jp/>」にアクセスします。
- (2) 「サポート」をクリックしてください。
- (3) 「LAN アダプタードライバ」の「ダウンロード一覧リスト」をクリックしてください。
- (4) LAN アダプターの一覧から選択してください。

フロッピーディスクでの入手

当社のカスタマー・マーケティング (Tel: 0120-860-442、9:00 ~ 17:30 / 月~金) までお問い合わせください。実費にて最新ドライバーのフロッピーディスクをご提供いたします。

E ご注意

- 本マニュアルは、アライドテレシス (株) が作成したもので、全ての権利をアライドテレシス (株) が保有しています。アライドテレシス (株) に無断で本書の一部または全部を複製することを禁じます。
- アライドテレシス (株) は、予告なく本マニュアルの一部または全体を修正、変更することがありますのでご了承ください。
- アライドテレシス (株) は、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 本製品の内容またはその仕様に関して発生した結果については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©2000 アライドテレシス株式会社

F 商標について

CentreCOM、CentreNET はアライドテレシス株式会社の登録商標です。

Windows、Windows NTは、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

G マニュアルバージョン

2000年12月 Rev.A 初版

memo

memo

一般事項

1. 御社名 :

部署名 :

ご連絡先住所 : 〒

ご担当者 :

TEL: ()

FAX: ()

2. 購入先 :

購入先担当者 :

購入年月日 :

連絡先 (TEL): ()

ハードウェアとソフトウェア

1. ご使用のカードのシリアル番号、製品リビジョン



S/N _____ Rev ____

WR211PCM plus

2. ご使用の当社のソフトウェア

本製品のセットアップユーティリティーディスクVer.pl

CentreNET AT-TCP/32 Ver. pl. S/N

その他 () Ver. pl. S/N

その他 () Ver. pl. S/N

3. ご使用のコンピュータについて

メーカー名 : _____ 機種名 : _____

OS : _____ バージョン : _____

サービスパック : _____

4. ご使用の周辺機器について

CD-ROM ドライブ : _____

サウンドボード : _____

SCSI ボード : _____

その他 : _____

5. 5. ご使用のサーバー、UNIX システムの機種、OS など

6. トラブルの発生時期

セットアップ中に起こっている障害

セットアップ後、運用中に起こっている障害

7. システムレポート

添付あり

添付なし

お問い合わせ内容

接続の構成図

簡単で結構ですからご記入をお願いします。